

第12章 ひとりぐらし高齢者（単身世帯）の生活実態

本章では、ひとりぐらし高齢者（1,047人）の生活実態について、1 ひとりぐらし高齢者の概況、2 家族、3 健康、4 介護保険制度、5 住まい、6 コミュニケーション・社会参加、7 就業・経済、8 高齢者に対する必要な施策や支援の8つの側面から概観する。

1 ひとりぐらし高齢者の概況

(1) ひとりぐらし高齢者の推移

ひとりぐらし高齢者の割合は、世帯類型別にみると、22.2%となっている。（図12-1）過去調査（昭和55年～）からの推移をみると、ひとりぐらし高齢者の割合は、調査を開始した昭和55年から一貫して増加し続けている。

男女別にみると、ひとりぐらし高齢者の割合は、男性18.7%、女性25.2%となっており、男性は昭和60年から一貫して増加し続けている。（図12-2）

図12-1 世帯類型

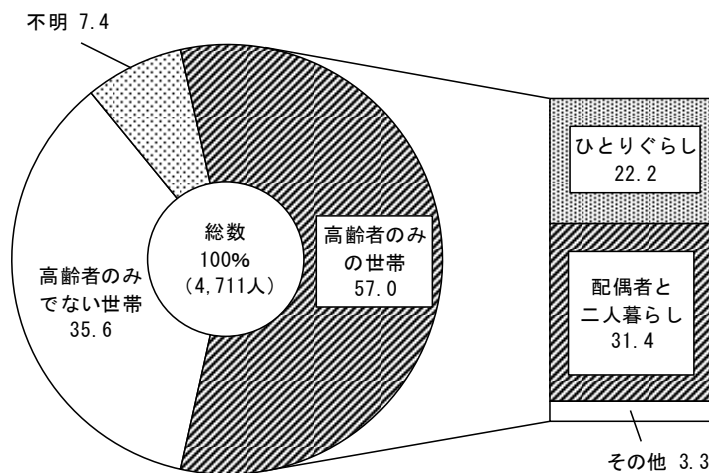
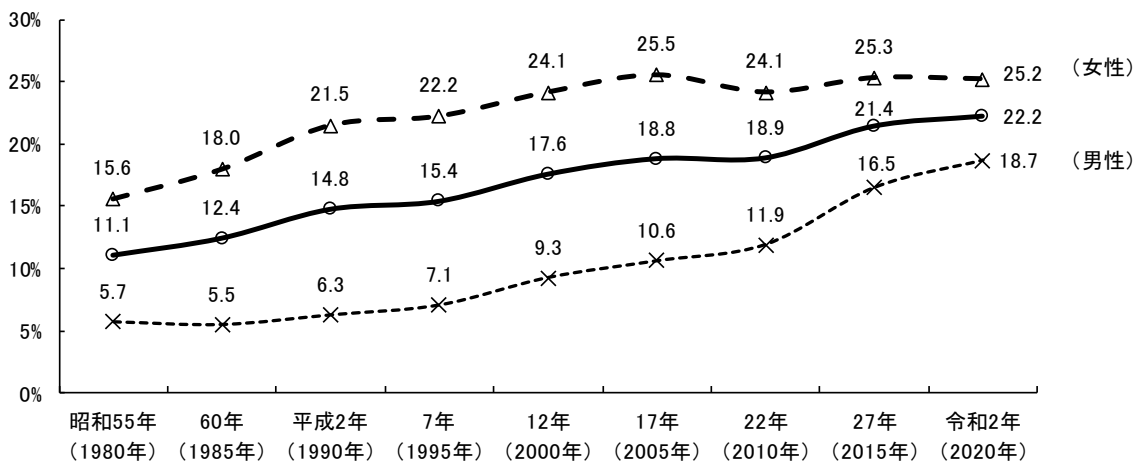


図12-2 ひとりぐらし高齢者の割合の推移



(2) 年齢階級－性別、全数との比較

男性の前期高齢者(65～74歳)の割合は、全数より高くなっている

ひとりぐらし高齢者(1,047人)の年齢階級は、前期高齢者(65～74歳)が47.1%、後期高齢者(75歳以上)が52.9%で、全数(前期高齢者48.5%、後期高齢者51.5%)と比較すると、後期高齢者の割合が高くなっている。

また、男性の前期高齢者の割合は62.2%で、全数における男性の前期高齢者(52.1%)と比較すると、10.1ポイント高くなっている。(表12-1)

表 12-1 年齢階級－性別、全数との比較

	総 数	6 5 5 6 9 歳	7 0 5 7 4 歳	7 5 5 7 9 歳	8 0 5 8 4 歳	8 5 歳 以 上	7 5 再 掲 以 上	平 均 (歳)
ひとりぐらし 高齢者	100.0 (1,047)	19.2 27.9 47.1		20.0	16.0	16.9	52.9	76.5
男	100.0 (399)	29.8 32.3 62.2		17.8	9.3	10.8	37.8	74.0
女	100.0 (648)	12.7	25.2	21.3	20.2	20.7	62.2	78.0
全数	100.0 (4,711)	20.8 27.7 48.5		22.0	15.8	13.7	51.5	75.9
男	100.0 (2,138)	23.0 29.1 52.1		21.5	14.4	12.0	47.9	75.2
女	100.0 (2,573)	19.0	26.5	22.4	17.0	15.1	54.5	76.4

(注) 全数とは、今回調査における高齢者全体(4,711人)をいう(ひとりぐらし高齢者も含む。)

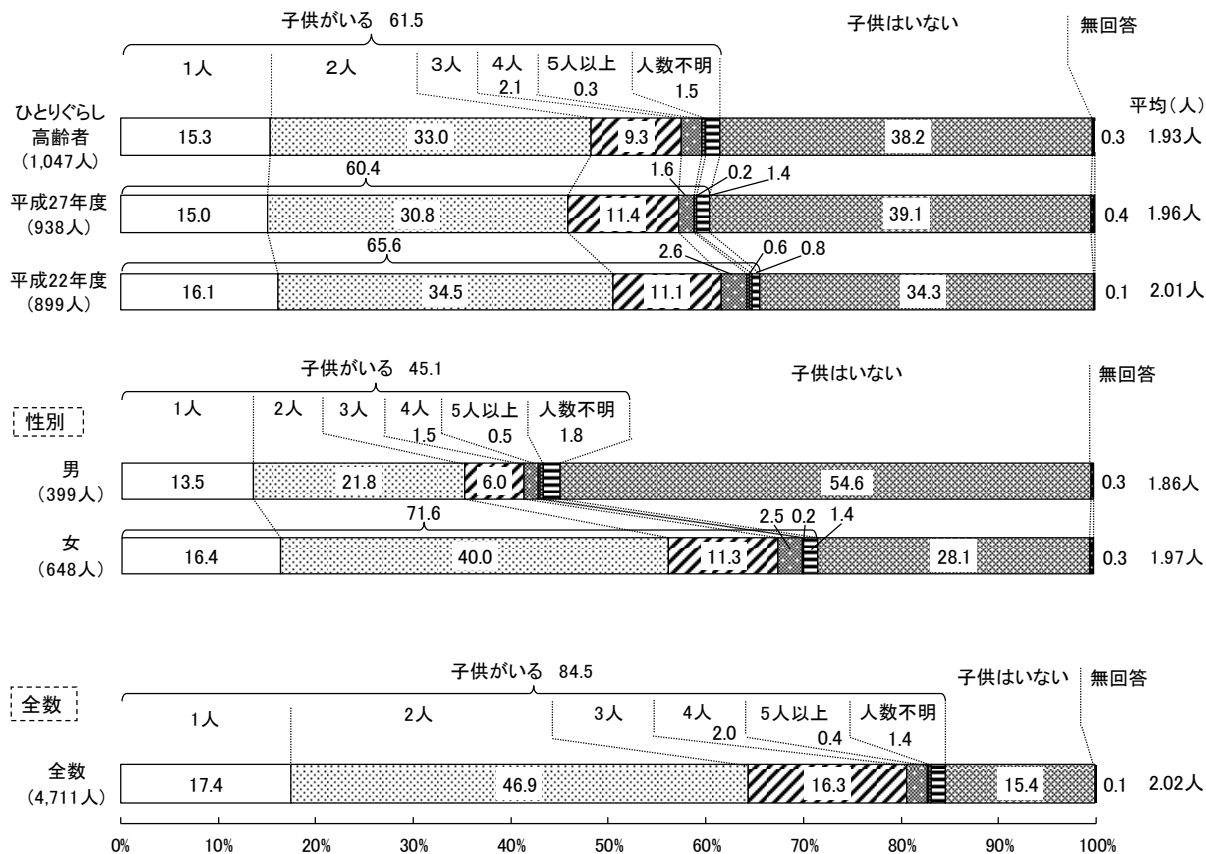
(3) 子供の有無・人数－性別、全数との比較

「子供がいる」割合は男性 45.1%、女性 71.6%

ひとりぐらし高齢者(1,047人)における子供がいる割合は61.5%で、平均人数は1.93人となっている。また、性別で見ると、子供がいる割合は、男性45.1%、女性71.6%となっている。

子供がいる割合を全数(84.5%)と比較すると23.0ポイント低くなっている。(図12-3)

図12-3 子供の有無・人数－性別、全数との比較



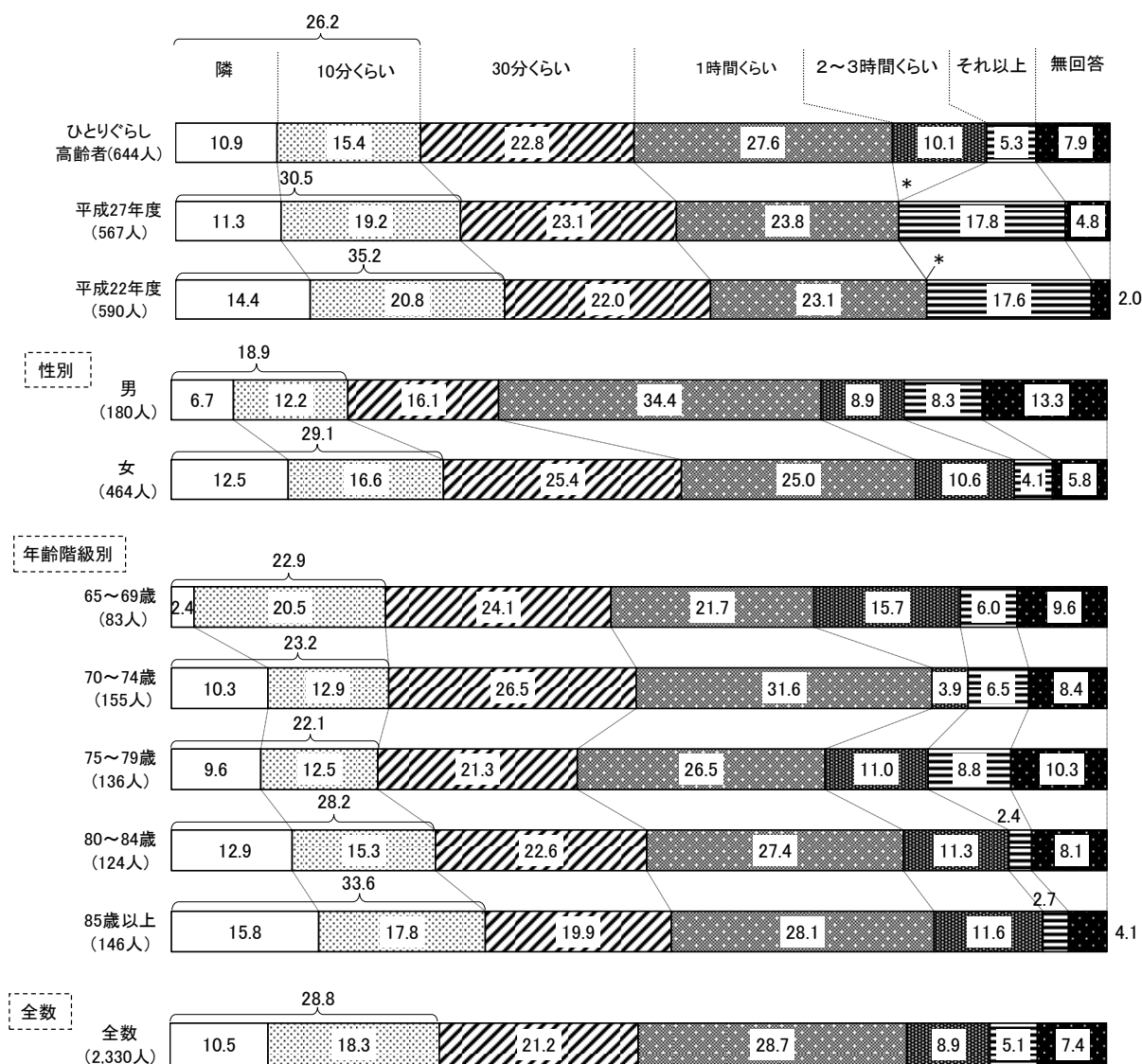
2 家族

(1) 別居している子供との距離—性、年齢階級別、全数との比較

10分くらいまでの距離に子供が住んでいる割合は、男性18.9%、女性29.1%

子供と別居しているひとりぐらし高齢者（644人）と一番近くに住んでいる子供との距離を性別にみると、「隣」と「10分くらい」を合わせた10分くらいまでの距離に子供が住んでいる割合は、男性18.9%、女性29.1%で、女性の方が10.2ポイント高くなっている。（図12-4）

図12-4 別居している子供との距離—性、年齢階級別、全数との比較



(注1) 通常行き来する方法(徒歩、バス、電車など)による時間を聞いた。

(注2) 全数とは、高齢者全体のうち子供と別居している高齢者2,330人。

(注3) *は、平成27年度以前の調査では選択肢を設けておらず、「2~3時間くらい」の回答は「それ以上」の中に含まれる。

3 健康

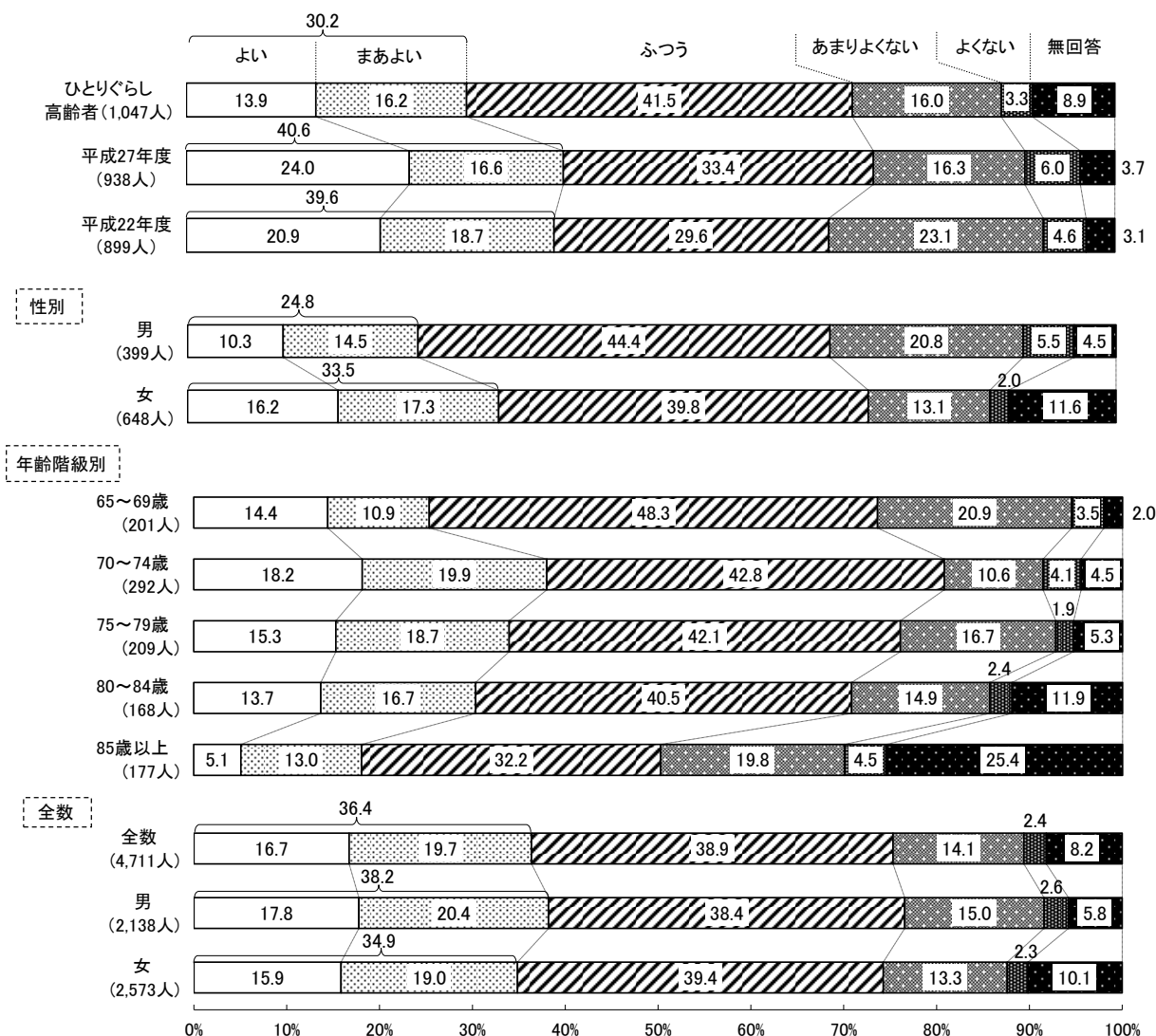
(1) 健康状態一性、年齢階級別、全数との比較

健康状態を「よい」と「まあよい」と感じている人の割合は、高齢者全体では女性より男性が高く、ひとりぐらしの人では男性より女性が高い

ひとりぐらし高齢者(1,047人)の健康状態をみると、「ふつう」が41.5%で最も高く、次いで「まあよい」が16.2%、「あまりよくない」が16.0%となっている。また、「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、30.2%となっている。

性別でみると、「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、高齢者全体では女性より男性が高く(男性38.2%、女性34.9%)、ひとりぐらしの人では、男性より女性が高くなっている(男性24.8%、女性33.5%)。高齢者全体の男性とひとりぐらし高齢者の男性を比較すると、ひとりぐらし高齢者の方が13.4ポイント低くなっている。(図12-5)

図12-5 健康状態一性、年齢階級別、全数との比較



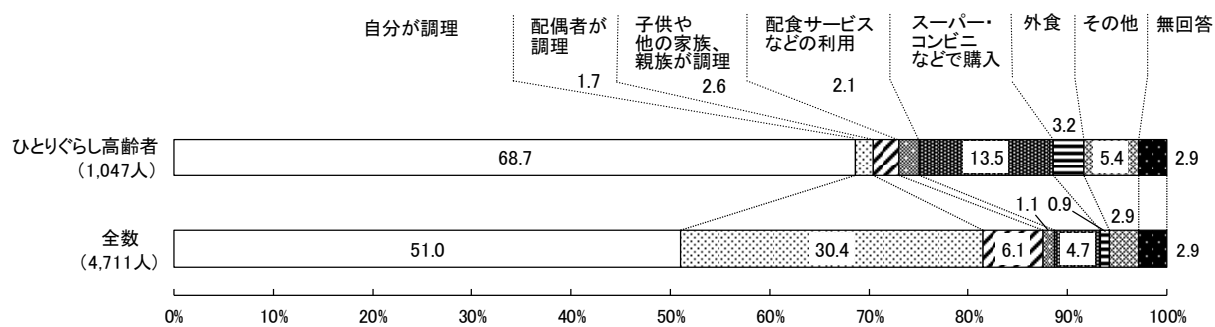
(2) 食事の状況—全数との比較

ひとりぐらし高齢者（1,047人）の普段の食事の状況を見ると、食事の用意は「自分が調理」の割合が最も高く68.7%、次いで「スーパー・コンビニなどで購入」が13.5%となっている。

「自分が調理」の割合を全数（51.0%）と比較すると、17.7ポイント高くなっている。

（図 12-6）

図 12-6 食事の状況—全数との比較



(3) 日常生活動作 (ADL)

ア 日常生活動作 (ADL) (聴力、視力、意思伝達、歩行、食事、着替え、入浴、排せつ)

日常生活動作能力 (ADL) を「聴力」「視力」「意思伝達」「歩行」「食事」「着替え」「入浴」「排せつ」の8項目の回答状況を表示したのが表 12-2 である。

ひとりぐらし高齢者 (1,047 人) の日常生活動作 (聴力、視力、意思伝達) の項目において、「日常生活に支障はない」の割合は、「聴力」61.4%、「視力」50.6%、「意思伝達」63.6%となっている。また、日常生活動作 (歩行、食事、着替え、入浴、排せつ) の項目において、「ひとりで全部できる」の割合は 8 割以上となっている (81.9%~90.4%)。(表 12-2)

表 12-2 日常生活動作 (ADL)

	A		B	
聴力 ※1	1 日常生活に支障はない	61.4 (61.3)	4 日常生活に支障がある	3.9 (3.1)
	2 日常生活にほとんど支障はない	18.4 (19.4)		
	3 日常生活に多少支障がある	12.9 (13.1)		
視力 ※2	1 日常生活に支障はない	50.6 (55.8)	3 日常生活に多少支障がある	16.0 (12.4)
	2 日常生活にほとんど支障はない	26.4 (26.0)	4 日常生活に支障がある	1.8 (1.4)
意思伝達	1 日常生活に支障はない	63.6 (67.6)	3 日常生活に多少支障がある	7.6 (6.8)
	2 日常生活にほとんど支障はない	20.1 (18.1)	4 日常生活に支障がある	2.1 (2.0)
歩行 ※3	1 ひとりで全部できる	81.9 (84.8)	3 一部介助が必要	4.4 (4.1)
	2 時間をかければひとりでできる	9.5 (7.6)	4 全面的な介助が必要	2.9 (2.1)
食事	1 ひとりで全部できる	90.0 (92.1)	3 一部介助が必要	1.7 (1.4)
	2 時間をかければひとりでできる	5.3 (4.4)	4 全面的な介助が必要	1.3 (0.7)
着替え	1 ひとりで全部できる	88.7 (90.7)	3 一部介助が必要	1.7 (1.8)
	2 時間をかければひとりでできる	6.0 (4.6)	4 全面的な介助が必要	2.1 (1.6)
入浴	1 ひとりで全部できる	86.5 (89.4)	3 一部介助が必要	2.8 (2.7)
	2 時間をかければひとりでできる	5.3 (3.5)	4 全面的な介助が必要	4.2 (3.1)
排せつ	1 ひとりで全部できる	90.4 (92.5)	3 一部介助が必要	1.2 (1.2)
	2 時間をかければひとりでできる	4.4 (3.2)	4 全面的な介助が必要	1.4 (1.6)

(注1) ()内は全数4,711人の割合である。

(注2) ※1 普段、補聴器を使用している場合は、補聴器を使用した状態で回答している。

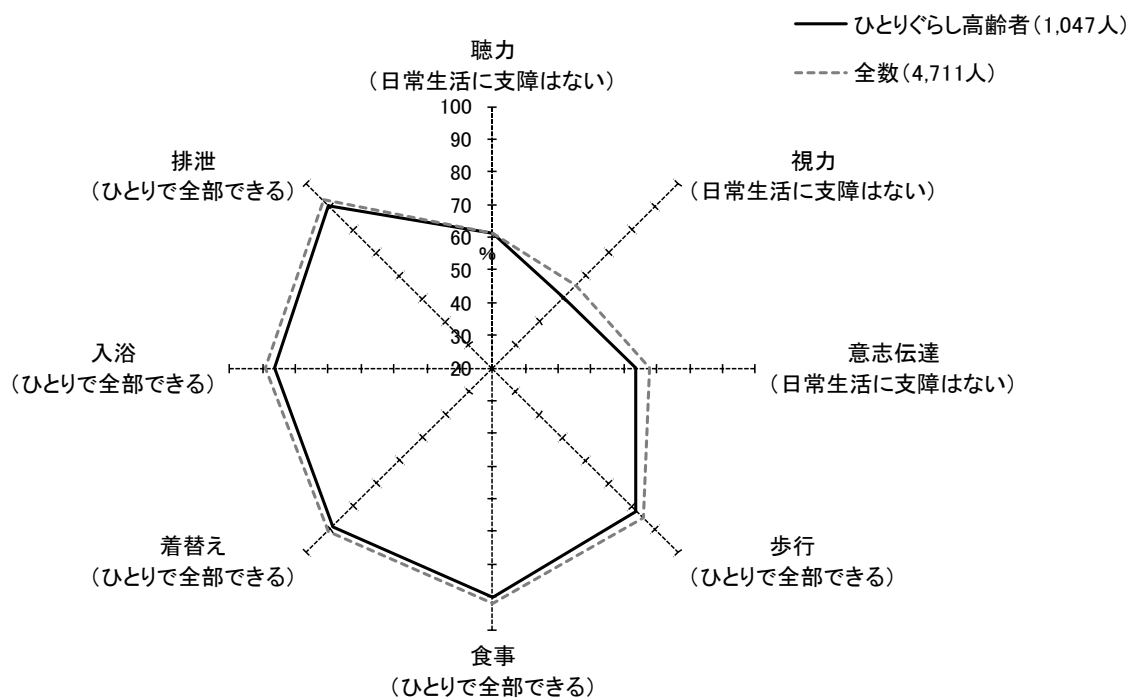
(注3) ※2 普段、眼鏡を使用している場合は、眼鏡を使用した状態で回答している。

(注4) ※3 普段、杖や車椅子等を使用している場合は、それらを使用した状態で回答している。

(注5) A・B欄は「動作能力類型」(P41参照)を作成するための分類である。

下の図 12-7 は、表 12-2 の各項目で「1」と答えた、ADLに問題のない高齢者の割合を示したものである。

図 12-7 ADLに問題のない高齢者の割合—全数との比較



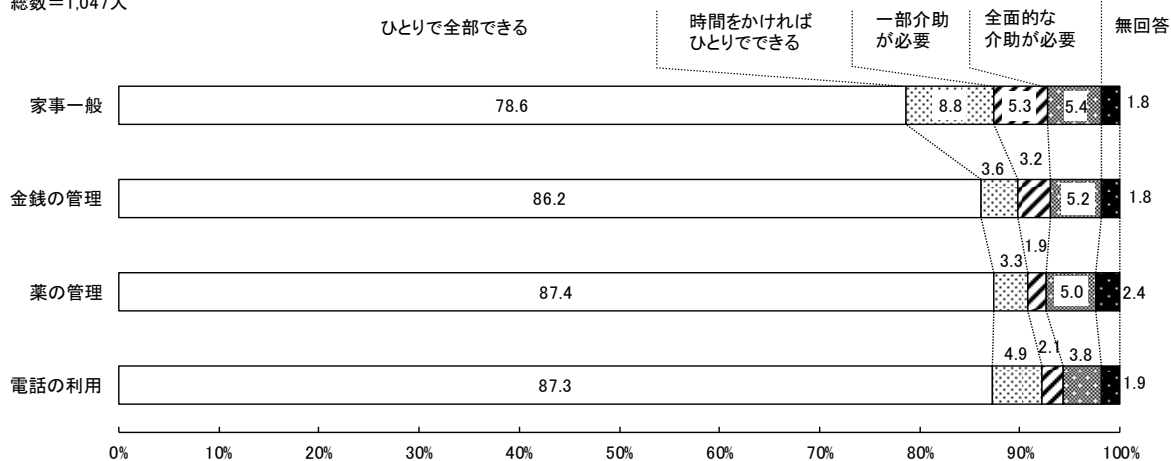
イ 日常生活動作（ADL）（家事一般、金銭の管理、薬の管理、電話の利用）

ひとりぐらし高齢者（1,047人）の日常生活動作（家事一般、金銭の管理、薬の管理、電話の利用）の項目において、「ひとりで全部できる」の割合は、「家事一般」78.6%、「金銭の管理」86.2%、「薬の管理」87.4%、「電話の利用」87.3%となっている。（図12-8）

図 12-8 日常生活動作（ADL）（家事一般、金銭の管理、薬の管理、電話の利用）

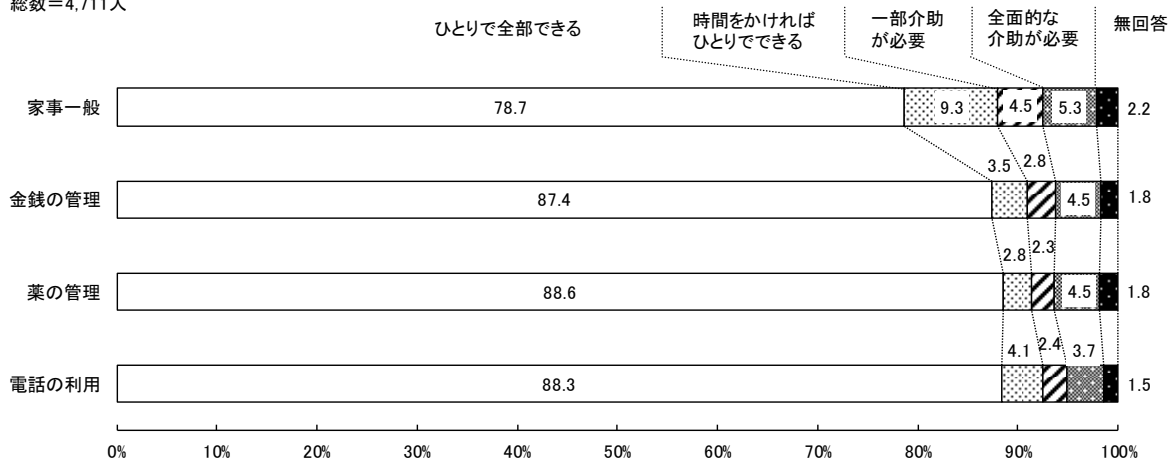
《ひとりぐらし高齢者》

総数=1,047人



《全数》

総数=4,711人



(4) 動作能力類型一性・年齢階級別、全数との比較

「寝たきりなどの高齢者」は、男性よりも女性の割合が高い

動作能力類型では、「障害のない高齢者」の割合が40.6%で最も高くなっている。

性別でみると、「寝たきりなどの高齢者」の割合は、男性4.5%、女性11.9%で女性の方が高くなっている。(表12-3)

表 12-3 動作能力類型一性・年齢階級別、全数との比較

		総数	寝たきりなどの高齢者	寝たきり高齢者	寝たきりに近い高齢者	比較的高齢者 比較的重い障害のある	軽い障害のある高齢者	障害のない高齢者	無回答
ひとりぐらし高齢者		100.0 (1,047)	9.1	3.7	5.3	16.6	27.1	<u>40.6</u>	6.6
性・年齢階級別	男	100.0 (399)	<u>4.5</u>	2.0	2.5	18.8	29.6	40.9	6.3
	65～74歳	100.0 (248)	1.6	-	1.6	14.9	28.6	48.8	6.0
	75歳以上	100.0 (151)	9.3	5.3	4.0	25.2	31.1	27.8	6.6
	女	100.0 (648)	<u>11.9</u>	4.8	7.1	15.3	25.6	40.4	6.8
	65～74歳	100.0 (245)	2.0	0.8	1.2	9.4	24.9	60.0	3.7
	75歳以上	100.0 (403)	17.9	7.2	10.7	18.9	26.1	28.5	8.7
全数		100.0 (4,711)	8.4	2.9	5.4	14.0	28.6	43.3	5.8

(注) 動作能力類型は、50頁を参照。

4 介護保険制度

(1) 要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無

－全数、高齢者夫婦のみの世帯との比較

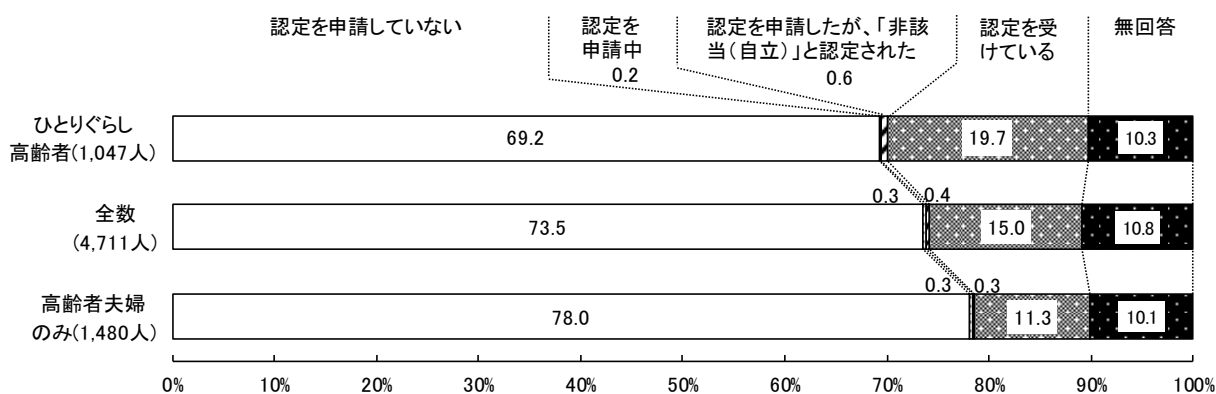
ひとりぐらし高齢者（1,047人）における介護保険制度の要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無をみると、「認定を受けている」人の割合は19.7%、「認定を申請していない」人の割合は69.2%となっている。

「認定を受けている」割合を全数（15.0%）と比較すると、4.7ポイント高くなっている。また、高齢者夫婦のみの世帯（11.3%）と比較すると、8.4ポイント高くなっている。

（図 12-9）

図 12-9 要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無

－全数、高齢者夫婦のみの世帯との比較



(2) 要支援・要介護度

－性、年齢階級、動作能力類型別、全数・高齢者夫婦のみの世帯との比較

「要支援1」の割合が最も高く、25.2%

ひとりぐらし高齢者で要介護認定（要支援認定を含む。）を受けている人（206人）の要支援・要介護度をみると、「要支援1」の割合が25.2%で最も高く、次いで「要支援2」が18.4%、「要介護1」が16.0%となっている。（表12-4）

表 12-4 要支援・要介護度

－性、年齢階級、動作能力類型別、全数・高齢者夫婦のみの世帯との比較

		総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わか か ら な い は	要 介 護 度 ・ 支 援 は
ひとりぐらし高齢者		100.0 (206)	25.2	18.4	16.0	12.6	4.4	7.8	5.8		9.7
性別	男	100.0 (51)	17.6	15.7	15.7	15.7	3.9	5.9	5.9		19.6
	女	100.0 (155)	27.7	19.4	16.1	11.6	4.5	8.4	5.8		6.5
年齢階級	65～74歳	100.0 (23)	13.0	17.4	13.0	21.7	0.0	8.7	4.3		21.7
	75歳以上	100.0 (183)	26.8	18.6	16.4	11.5	4.9	7.7	6.0		8.2
動作能力類型別	寝たきりなどの高齢者	100.0 (87)	8.0	10.3	21.8	17.2	10.3	18.4	12.6		1.1
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (42)	23.8	31.0	16.7	16.7	-	-	-		11.9
	軽い障害のある高齢者	100.0 (36)	41.7	25.0	8.3	8.3	-	-	-		16.7
	障害のない高齢者	100.0 (21)	61.9	14.3	4.8	-	-	-	-		19.0
全数		100.0 (706)	22.5	18.6	14.2	14.0	8.5	7.9	5.8		8.5
高齢者夫婦のみ		100.0 (167)	26.3	22.2	9.6	16.2	7.2	5.4	6.0		7.2

(3) 介護の状況（ひとりぐらし高齢者が介護を受けている状況）

ア 介護をしている人〔複数回答〕－性別、全数との比較

介護をしている人は「親族」の割合が57.3%、「親族以外」が72.0%

ひとりぐらし高齢者で要介護認定（要支援認定を含む。）を受けている人のうち、介護を受けている人（143人）を誰が介護しているかについてみると、「親族」の割合が57.3%、「親族以外」が72.0%となっている。また、「親族」では「子供」の割合が51.0%で最も高く、「親族以外」では「ホームヘルパーなどの介護職員」が68.5%で最も高くなっている。

「ホームヘルパーなどの介護職員」の割合を全数（35.4%）と比較すると、33.1ポイント高くなっている。（表12-5）

表 12-5 介護をしている人〔複数回答〕－性別、全数との比較

	総数	親族	1	2	3	4	5	6	親族以外	7	8	9	10	
			配偶者	子供	子供の配偶者	孫またはその配偶者	兄弟姉妹	155以外の親族		ホームヘルパーなどの介護職員	訪問看護師	近所の人・友人・知人	その他	
ひとりぐらし高齢者	100.0 (143)	57.3	2.8	51.0	11.9	2.8	2.1	2.8	72.0	68.5	14.0	3.5	2.1	
性別	男	100.0 (36)	44.4	5.6	36.1	11.1	-	5.6	5.6	77.8	75.0	8.3	5.6	5.6
	女	100.0 (107)	61.7	1.9	56.1	12.1	3.7	0.9	1.9	70.1	66.4	15.9	2.8	0.9
全数	100.0 (520)	80.2	30.8	54.2	11.3	4.0	2.9	1.3	43.5	35.4	13.1	1.5	2.1	

イ 介護をしている人のうち、最も介護している時間が長い人—性別、全数との比較

最も長い時間、介護をしている人は「ホームヘルパーなどの介護職員」の割合が高く、約5割

ひとりぐらし高齢者で要介護認定（要支援認定を含む。）を受けている人のうち、介護を受けている人（143人）を誰が最も長い時間介護しているかについてみると、「ホームヘルパーなどの介護職員」の割合が50.3%で最も高く、次いで「子供」（28.0%）となっている。

「ホームヘルパーなどの介護職員」の割合を全数（20.4%）と比較すると、29.9ポイント高くなっている。（表12-6）

表 12-6 介護をしている人のうち、最も介護している時間が長い人—性別、全数との比較

		総数	親族	1 配偶者	2 子供	3 子供の配偶者	4 孫またはその配偶者	5 兄弟姉妹	6 155以外の親族	親族以外	7 ホームヘルパーなどの介護職員	8 訪問看護師	9 近所の人・友人・知人	10 その他	無回答
ひとりぐらし高齢者		100.0 (143)	36.4	1.4	<u>28.0</u>	5.6	-	0.7	0.7	53.8	<u>50.3</u>	2.1	0.7	0.7	9.8
性別	男	100.0 (36)	25.0	2.8	13.9	5.6	-	2.8	-	66.7	61.1	2.8	-	2.8	8.3
	女	100.0 (107)	40.2	0.9	32.7	5.6	-	-	0.9	49.5	46.7	1.9	0.9	-	10.3
全数		100.0 (520)	65.4	24.4	33.5	5.2	0.2	1.7	0.4	24.0	<u>20.4</u>	1.9	0.2	1.5	10.6

(4) フレイルの認知度 — 性・年齢階級別、全数との比較

フレイルを「知っている」割合は、男性 11.8%、女性 24.5%

ひとりぐらし高齢者（1,047人）のフレイルの認知度をみると、「知っている」割合が19.7%、「中身は知らないが、言葉は聞いたことがある」が11.5%となっている。一方、「知らない」の割合は58.2%となっている。

性別でみると、「知っている」の割合は、男性 11.8%、女性 24.5%となっている。（表12-7）

表 12-7 フレイルの認知度 — 性・年齢階級別、全数との比較

		総 数	知 っ て い る	言 中 葉 身 は は 聞 知 いた ら ない こと が あ る	知 ら な い	無 回 答
ひとりぐらし高齢者		100.0 (1,047)	<u>19.7</u>	<u>11.5</u>	<u>58.2</u>	10.7
性・ 年 齢 階 級 別	男	100.0 (399)	<u>11.8</u>	9.3	71.4	7.5
	65～74歳	100.0 (248)	10.5	8.5	76.2	4.8
	75～84歳	100.0 (108)	14.8	8.3	66.7	10.2
	85歳以上	100.0 (43)	11.6	16.3	55.8	16.3
	(再掲)75歳以上	100.0 (151)	13.9	10.6	63.6	11.9
	女	100.0 (648)	<u>24.5</u>	12.8	50.0	12.7
	65～74歳	100.0 (245)	24.9	12.7	59.2	3.3
	75～84歳	100.0 (269)	28.3	12.3	47.6	11.9
	85歳以上	100.0 (134)	16.4	14.2	38.1	31.3
	(再掲)75歳以上	100.0 (403)	24.3	12.9	44.4	18.4
全数		100.0 (4,711)	18.7	11.2	60.4	9.7
性 別	男	100.0 (2,138)	14.7	10.4	67.6	7.2
	女	100.0 (2,573)	22.0	11.9	54.3	11.7

5 住まい

(1) 住宅の種類一性・年齢階級別、全数との比較

「持家」の割合は、57.6%

ひとりぐらし高齢者（1,047人）が現在住んでいる住宅の種類を大別すると、「持家」が57.6%、「借家・賃貸住宅など」が38.4%となっている。種類別にみると、「持家（一戸建て）」の割合が最も高く36.6%、次いで「民間賃貸住宅」が26.2%、「持家（分譲マンションなど）」が21.0%となっている。

「持家（一戸建て）」の割合は、全数（59.2%）と比較すると22.6ポイント低く、「民間賃貸住宅」の割合は、全数（11.4%）と比較すると14.8ポイント高くなっている。

性・年齢階級別にみると、「持家」の割合は、女性の後期高齢者（75歳以上）が64.0%で最も高く、「民間賃貸住宅」の割合は、男性の前期高齢者（65～74歳）が45.2%で最も高くとなっている。（表12-8）

表 12-8 住宅の種類一性・年齢階級別、全数との比較

	総数	持家			借家・賃貸住宅など						その他	無回答	
		持家（一戸建て）	持家（分譲マンションなど）	民間賃貸住宅	都市・区市町村の公営賃貸住宅	都市再生機構・住宅供給公社などの公的賃貸住宅※	借家（一戸建て）	高齢者向け住宅					
ひとりぐらし高齢者	100.0 (1,047)	57.6	36.6	21.0	38.4	26.2	3.3	2.4	1.7	4.8	1.9	2.1	
平成27年度	100.0 (938)	54.8	36.6	18.2	43.4	28.1	8.7	2.8	1.0	2.8	1.2	0.6	
性・年齢階級別	男	100.0 (399)	48.9	31.6	17.3	46.4	37.6	1.8	2.5	1.8	2.8	2.3	2.5
	65～74歳	100.0 (248)	42.3	25.4	16.9	52.8	45.2	0.8	2.8	2.0	2.0	3.2	1.6
	75歳以上	100.0 (151)	59.6	41.7	17.9	35.8	25.2	3.3	2.0	1.3	4.0	0.7	4.0
	女	100.0 (648)	63.0	39.7	23.3	33.5	19.1	4.3	2.3	1.7	6.0	1.7	1.9
	65～74歳	100.0 (245)	61.2	33.9	27.3	35.9	26.9	2.9	2.4	2.4	1.2	2.4	0.4
	75歳以上	100.0 (403)	64.0	43.2	20.8	32.0	14.4	5.2	2.2	1.2	8.9	1.2	2.7
全数	100.0 (4,711)	78.6	59.2	19.3	17.7	11.4	1.8	1.7	1.2	1.7	1.5	2.2	

（注）※は、平成27年度調査では「都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅」としていた。

(2) 介護が必要になったときの高齢期の住まい

一性、年齢階級、住宅の種類別、全数との比較

「介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」男性の割合は、全数と比較して高い

ひとりぐらし高齢者（1,047人）が、介護が必要になったときに住みたい場所についてみると、「現在の住宅に住み続けたい」割合は32.7%で、全数（44.5%）と比較すると全数の方が11.8ポイント高くなっている。

性別でみると、介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」の割合は、男性が25.8%で、全数の男性（19.2%）と比較すると、6.6ポイント高くなっている。（表12-9）

表12-9 介護が必要になったときの高齢期の住まい

一性、年齢階級、住宅の種類別、全数との比較

	総数	1 現在の住宅に住み続けたい	2 近くの子供や親族の家に住み続けたい	3 ホームなど（高齢者向け住宅）に入居したい	4 介護保険で入居できる施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい	5 生まれ育ったところ（自然環境のよいところ）に移り住みたい	6 その他	7 わからない	無回答	
ひとりぐらし高齢者	100.0 (1,047)	32.7	3.1	14.4	22.0	2.5	1.1	14.1	10.1	
性別	男	100.0 (399)	29.8	1.8	14.3	25.8	4.0	0.5	17.8	6.0
	女	100.0 (648)	34.4	3.9	14.5	19.6	1.5	1.5	11.9	12.7
年齢階級別	65～69歳	100.0 (201)	26.9	3.5	14.9	27.4	3.0	0.5	21.4	2.5
	70～74歳	100.0 (292)	25.7	4.5	14.7	27.1	4.8	1.7	18.2	3.4
	75～79歳	100.0 (209)	36.8	1.9	16.7	18.7	1.4	1.4	12.9	10.0
	80～84歳	100.0 (168)	41.1	2.4	11.3	20.2	1.2	1.8	11.3	10.7
	85歳以上	100.0 (177)	37.9	2.3	13.6	13.0	0.6	-	3.4	29.4
住宅の種類別	持家（一戸建て）	100.0 (383)	50.7	1.0	14.1	18.5	1.6	1.3	6.5	6.3
	持家（分譲マンションなど）	100.0 (220)	36.8	3.2	20.5	19.1	1.8	-	11.4	7.3
	民間賃貸住宅	100.0 (274)	12.4	5.8	15.0	30.3	4.7	1.8	25.5	4.4
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (35)	42.9	-	5.7	17.1	-	-	17.1	17.1
	都市再生機構・住宅供給会社などの公営賃貸住宅	100.0 (25)	12.0	-	8.0	36.0	4.0	-	36.0	4.0
	借家（一戸建て）	100.0 (18)	27.8	11.1	11.1	11.1	5.6	-	22.2	11.1
	高齢者向け住宅	100.0 (50)	10.0	-	6.0	14.0	-	-	6.0	64.0
	その他	100.0 (20)	5.0	10.0	5.0	45.0	5.0	10.0	10.0	10.0
全数	100.0 (4,711)	44.5	1.7	11.3	19.1	2.0	0.5	11.9	8.9	
性別	男	100.0 (2,138)	46.8	1.4	10.9	19.2	2.8	0.3	11.9	6.7
	女	100.0 (2,573)	42.6	1.9	11.7	19.1	1.3	0.6	11.9	10.8

6 コミュニケーション・社会参加

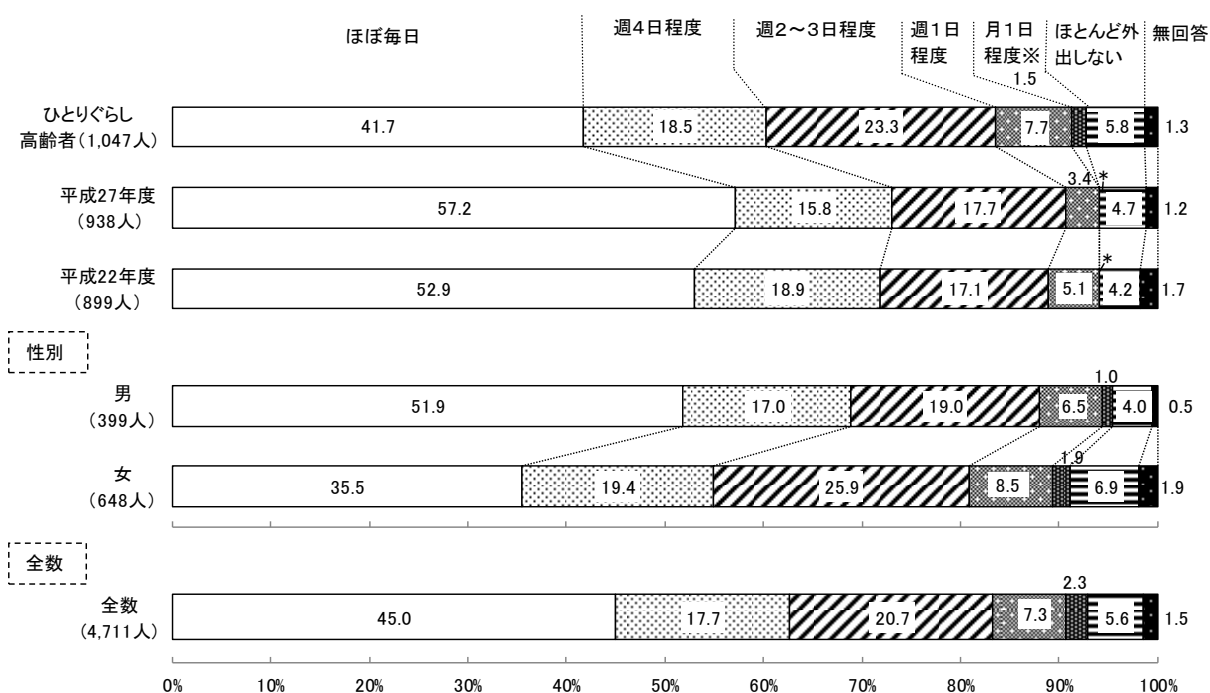
(1) 外出の頻度－性別、全数との比較

「ほぼ毎日」の割合は、男性 51.9%、女性 35.5%

ひとりぐらし高齢者（1,047人）の外出頻度をみると、「ほぼ毎日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「週2～3回程度」が23.3%となっている。

性別でみると、「ほぼ毎日」の割合は、男性51.9%、女性35.5%で、男性の方が16.4ポイント高くなっている。（図12-10）

図12-10 外出の頻度－性別、全数との比較



(注1) 平成27年度以前の「週〇日程度」の選択肢は、いずれも「週〇回程度」と回数表記であり、1日に2回以上外出する場合は、1回と数えた。

(注2) ※は、平成27年度以前は選択肢を設けていなかった。

(2) 近所付き合いの程度－性・年齢階級、動作能力類型別、全数との比較

全数と比較して「付き合いがない」の割合が高く、特に65歳～74歳の男性は約3割

ひとりぐらし高齢者（1,047人）の近所付き合いの程度をみると、「立ち話をする程度の人がいる」の割合が34.6%と最も高くなっている。

また、「付き合いがない」の割合は18.1%で、全数（11.5%）と比較すると、6.6ポイント高くなっている。

性・年齢階級別にみると、「付き合いがない」の割合は、男性28.3%、女性11.7%で男性の方が16.6ポイント高くなっている。特に、男性65歳～74歳は31.9%で、他の性・年齢階級と比べて、高くなっている。（表12-10）

表 12-10 近所付き合いの程度－性・年齢階級、動作能力類型別、全数との比較

		総 数	人 お 互 い に 訪 問 し 合 う	の 立 ち 話 を す る 程 度	の あ い さ つ を す る 程 度	付 き 合 い が な い	無 回 答
ひとりぐらし高齢者		100.0 (1,047)	13.5	<u>34.6</u>	32.0	<u>18.1</u>	1.9
平成27年度		100.0 (938)	21.7	34.3	25.9	16.6	1.4
性・ 年 齢 階 級 別	男	100.0 (399)	5.3	26.8	38.6	<u>28.3</u>	1.0
	65～74歳	100.0 (248)	2.8	25.8	38.7	<u>31.9</u>	0.8
	75歳以上	100.0 (151)	9.3	28.5	38.4	<u>22.5</u>	1.3
	女	100.0 (648)	18.5	39.4	27.9	<u>11.7</u>	2.5
	65～74歳	100.0 (245)	12.2	44.5	29.4	<u>12.7</u>	1.2
	75歳以上	100.0 (403)	22.3	36.2	27.0	<u>11.2</u>	3.2
動 作 能 力 類 型 別	寝たきりなど的高齢者	100.0 (95)	7.4	15.8	40.0	32.6	4.2
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (174)	12.6	29.3	31.0	24.1	2.9
	軽い障害のある高齢者	100.0 (284)	10.6	35.9	34.9	17.6	1.1
	障害のない高齢者	100.0 (425)	15.3	39.8	31.3	12.2	1.4
全数		100.0 (4,711)	12.1	39.6	35.1	<u>11.5</u>	1.8

(3) 生きがいを感じているかー性・年齢階級、全数との比較

ひとりぐらし高齢者(1,047人)の生きがい(喜びや楽しみ)を感じているかをみると、「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合は、73.6%となっている。

性別でみると、「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合は、男性が68.7%で、全数の男性(80.9%)と比較すると、12.2ポイント低くなっている。(表12-11)

表12-11 生きがいを感じているかー性・年齢階級、全数との比較

		総数	十分感じている	感じている	多少感じている	あまり感じていない	全く感じていない	無回答
ひとりぐらし高齢者		100.0 (1,047)	18.1	28.9	26.6	13.8	4.0	8.6
			73.6					
性・年齢階級別	男	100.0 (399)	13.3	26.8	28.6	19.0	7.5	4.8
	65～74歳	100.0 (248)	13.7	26.6	29.4	21.0	6.5	2.8
	75～84歳	100.0 (108)	15.7	25.9	25.9	15.7	12.0	4.6
	85歳以上	100.0 (43)	4.7	30.2	30.2	16.3	2.3	16.3
	女	100.0 (648)	21.1	30.2	25.3	10.5	1.9	11.0
	65～74歳	100.0 (245)	22.0	33.9	30.2	11.0	0.4	2.4
	75～84歳	100.0 (269)	24.9	29.7	24.9	8.9	2.6	8.9
	85歳以上	100.0 (134)	11.9	24.6	17.2	12.7	3.0	30.6
全数		100.0 (4,711)	22.1	34.0	23.9	10.3	2.1	7.7
			79.9					
性別	男	100.0 (2,138)	20.7	34.7	25.5	10.9	2.6	5.6
	女	100.0 (2,573)	23.2	33.4	22.6	9.8	1.7	9.4
			80.9					
			79.1					

(4) 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕

－性・年齢階級、動作能力類型別、全数との比較

「自分の健康・病気」の割合が最も高く、56.4%

ひとりぐらし高齢者(1,047人)の心配ごとや悩みごとの内容をみると、「自分の健康・病気」の割合が最も高く56.4%、次いで「災害(地震・火災・風水害など)にあうこと」が25.7%、「生活費や経済的なこと」が22.4%となっている。一方で「心配ごとや悩みごとはない」の割合は12.8%となっている。

性別でみると、「災害(地震・火災・風水害など)にあうこと」の割合は、男性20.1%、女性29.2%で、女性の方が9.1ポイント高くなっている。

動作能力類型別にみると、「自分の健康・病気」の割合は、「比較的重い障害のある高齢者」、「軽い障害のある高齢者」が6割を超えている(64.4%、68.7%)。(表12-12)

表12-12 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕

－性・年齢階級、動作能力類型別、全数との比較

	総数	自分の健康・病気	配偶者や家族の健康・病気	家族や親族との人間関係	相談したり、頼れる人がいなくて、一人きりであること	地域の人たちとの関係	生活費や経済的なこと	年金・介護・医療など社会保障給付の水準	住宅に関すること	仕事に関すること	財産管理や相続のこと	詐欺などの消費者被害にあうこと	犯罪に巻き込まれること	災害(地震・火災・風水害など)にあうこと	将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと	将来、自分の死後の配偶者や子供の墓の管理	その他	心配ごとや悩みごとはない	無回答		
ひとりぐらし高齢者	100.0 (1,047)	56.4	12.5	8.2	8.0	1.5	22.4	20.4	16.8	5.2	7.0	10.4	6.6	25.7	1.4	6.4	8.2	1.4	12.8	9.3	
性・年齢階級別	男	100.0 (399)	62.4	13.0	7.5	13.3	2.5	25.8	21.3	17.0	9.3	7.3	9.0	8.3	20.1	3.0	7.5	9.0	1.5	15.8	5.5
	65～74歳	100.0 (248)	63.3	8.9	7.3	12.9	2.8	28.2	22.2	19.4	11.3	4.4	7.3	6.9	19.0	1.2	6.0	7.3	2.0	18.1	2.8
	75歳以上	100.0 (151)	60.9	19.9	7.9	13.9	2.0	21.9	19.9	13.2	6.0	11.9	11.9	10.6	21.9	6.0	9.9	11.9	0.7	11.9	9.9
	女	100.0 (648)	52.6	12.2	8.6	4.8	0.9	20.4	19.9	16.7	2.6	6.8	11.3	5.6	29.2	0.5	5.7	7.7	1.4	11.0	11.6
	65～74歳	100.0 (245)	48.2	12.2	10.2	4.5	0.8	28.6	23.7	23.3	4.9	7.8	9.4	5.7	33.5	0.8	5.3	9.0	1.2	10.2	4.9
	75歳以上	100.0 (403)	55.3	12.2	7.7	5.0	1.0	15.4	17.6	12.7	1.2	6.2	12.4	5.5	26.6	0.2	6.0	6.9	1.5	11.4	15.6
動作能力類型別	寝たきりなど的高齢者	100.0 (95)	31.6	9.5	3.2	3.2	-	8.4	5.3	9.5	1.1	6.3	15.8	8.4	15.8	1.1	3.2	3.2	-	7.4	54.7
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (174)	64.4	13.2	11.5	12.6	2.3	25.9	21.8	19.0	3.4	8.0	16.7	8.6	28.7	1.7	8.0	13.2	0.6	9.2	10.3
	軽い障害のある高齢者	100.0 (284)	68.7	15.1	10.9	9.9	2.5	25.7	25.4	20.1	6.3	7.4	9.9	7.0	27.8	1.1	8.5	7.0	1.4	9.9	1.8
	障害のない高齢者	100.0 (425)	51.1	11.8	6.1	5.4	0.7	22.8	21.6	16.0	6.1	6.1	7.5	5.2	25.9	1.9	4.9	8.5	1.4	17.4	4.0
全数	100.0 (4,711)	54.3	40.8	9.4	2.7	1.7	20.3	22.1	12.8	5.0	8.7	9.3	5.9	26.4	18.4	20.4	9.8	1.0	10.8	8.4	

(5) 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

心配ごとや悩みごとを「相談したりする人はいない」の割合は14.6%で、全数より高い

ひとりぐらし高齢者(1,047人)の心配ごとや悩みごとの相談相手を見ると、「世帯員以外の親族」が38.8%で最も高く、次いで「友人・知人」が37.2%となっている。

全数と比較すると、「世帯員以外の親族」が7.7ポイント、「友人・知人」は5.3ポイントそれぞれ高くなっている。また「相談したりする人はいない」は14.6%で、7.3ポイント高くなっている。

性・年齢階級別にみると、「友人・知人」の割合は、男性の前期高齢者(65～74歳)が32.3%、女性の前期高齢者が56.7%で、男女ともに後期高齢者(75歳以上)に比べて高くなっている。(表12-13)

表12-13 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

	総数	1 世帯員※	2 世帯員以外の親族	3 友人・知人	4 地域包括支援センター	5 地域包括支援センター以外の行政機関の相談窓口	6 民生委員	7 ホームヘルパーなどの介護職員・ケアマネジャー	8 医師、看護師などの医療従事者	9 4、5、8以外の専門家(弁護士、税理士、司法書士など)	10 その他	11 相談する人はいない	無回答	
ひとりぐらし高齢者	100.0 (1,047)	-	<u>38.8</u>	<u>37.2</u>	4.5	2.5	2.6	5.0	9.3	3.0	0.6	<u>14.6</u>	16.2	
性・年齢階級別	男	100.0 (399)	-	30.8	28.1	3.5	3.5	3.3	4.3	10.8	2.5	0.8	27.6	10.3
	65～74歳	100.0 (248)	-	31.9	<u>32.3</u>	3.2	4.4	2.0	1.6	9.3	3.2	0.8	30.6	4.4
	75歳以上	100.0 (151)	-	29.1	21.2	4.0	2.0	5.3	8.6	13.2	1.3	0.7	22.5	19.9
	女	100.0 (648)	-	43.7	42.9	5.1	1.9	2.2	5.4	8.3	3.2	0.5	6.6	19.9
	65～74歳	100.0 (245)	-	45.3	<u>56.7</u>	1.6	1.6	1.2	0.8	5.3	2.4	1.2	8.2	10.6
	75歳以上	100.0 (403)	-	42.7	34.5	7.2	2.0	2.7	8.2	10.2	3.7	-	5.7	25.6
全数	100.0 (4,711)	54.6	<u>31.1</u>	<u>31.9</u>	4.1	1.8	1.6	3.7	9.1	3.5	0.6	<u>7.3</u>	10.6	

(注) ※はひとりぐらし高齢者のため、世帯員はいない。

(6) 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性、年齢階級別、全数との比較

「活動はしていない」男性の割合は、全数と比較して高い

ひとりぐらし高齢者（1,047人）がこの1年間に行った活動の状況をみると、「この1年間に活動した」の割合は、38.1%となっている。

性別でみると、「活動はしていない」の割合は、男性が59.1%で、全数の男性（47.1%）と比較すると、12.0ポイント高くなっている。（表12-14）

表12-14 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性、年齢階級別、全数との比較

	総数	この1年間に活動した	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、祭りの世話役などを支援する活動	地域の行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	活動はしていない	無回答
ひとりぐらし高齢者	100.0 (1,047)	38.1	32.2	7.7	4.8	3.6	1.3	1.6	1.8	1.9	0.7	0.6	1.4	1.0	0.7	0.6	51.4	10.5	
性別	男	100.0 (399)	30.1	24.3	4.3	4.3	2.5	2.0	1.5	0.8	1.5	1.0	0.3	1.3	0.3	0.8	0.3	59.1	10.8
	女	100.0 (648)	43.1	37.0	9.9	5.1	4.3	0.9	1.7	2.5	2.2	0.5	0.8	1.5	1.4	0.6	0.8	46.6	10.3
年齢階級別	65～69歳	100.0 (201)	43.3	34.3	6.5	4.0	3.5	2.0	2.0	1.5	3.0	0.5	-	3.0	2.5	-	1.0	48.3	8.5
	70～74歳	100.0 (292)	38.0	35.3	5.5	4.8	2.4	0.7	1.0	1.4	2.1	1.4	0.3	1.4	0.3	1.4	0.3	51.7	10.3
	75～79歳	100.0 (209)	39.7	35.4	9.1	7.7	7.2	1.9	3.8	4.3	3.3	0.5	1.0	1.4	0.5	0.5	1.0	47.4	12.9
	80～84歳	100.0 (168)	37.5	29.2	12.5	3.6	3.0	1.2	-	1.2	0.6	-	1.2	1.2	1.2	-	-	51.2	11.3
	85歳以上	100.0 (177)	31.1	23.7	6.8	3.4	2.3	1.1	1.1	0.6	-	0.6	0.6	-	0.6	1.1	0.6	59.3	9.6
全数	100.0 (4,711)	44.4	37.4	11.0	7.2	6.2	2.7	3.1	2.2	2.0	1.8	0.9	1.8	1.3	0.7	0.6	46.5	9.1	
性別	男	100.0 (2,138)	44.3	36.6	11.9	8.8	6.4	3.7	4.6	1.6	1.8	2.2	1.3	1.7	0.6	1.0	0.7	47.1	8.6
	女	100.0 (2,573)	44.6	38.1	10.2	5.8	6.0	1.9	1.9	2.6	2.3	1.5	0.5	1.9	1.9	0.5	0.5	45.9	9.5

(7) 今後の活動意向〔複数回答〕一性、年齢階級別、全数との比較

「今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動がある」男性の割合が、全数と比較して低い

ひとりぐらし高齢者（1,047人）の今後の活動意向をみると、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が23.1%で最も高くなっている。

性別でみると、「今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動がある」の割合は、男性が33.8%で、全数の男性（40.9%）と比較すると、7.1ポイント低くなっている。（表12-15）

表 12-15 今後の活動意向〔複数回答〕一性、年齢階級別、全数との比較

		総数	今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動がある	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、祭りの世話役などを支援する活動	地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	地域の伝統や文化を伝える活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	今後参加したい（活動し続けたい）活動はない	無回答
ひとりぐらし高齢者		100.0 (1,047)	33.0	23.1	5.0	4.8	6.0	3.8	3.6	5.2	2.8	3.1	2.2	2.8	3.2	2.0	0.7	22.0	45.1		
性別	男	100.0 (399)	33.8	24.1	5.8	6.3	8.5	5.5	6.0	5.0	3.0	3.8	3.0	2.8	3.3	1.8	0.5	25.1	41.1		
	女	100.0 (648)	32.4	22.5	4.5	3.9	4.5	2.8	2.2	5.2	2.6	2.6	1.7	2.8	3.2	2.2	0.8	20.1	47.5		
年齢階級別	65～69歳	100.0 (201)	39.3	27.4	7.5	5.0	11.4	5.5	5.5	6.5	4.0	3.5	2.0	3.5	4.5	3.5	1.0	24.4	36.3		
	70～74歳	100.0 (292)	39.4	26.7	5.5	6.5	7.2	4.8	5.8	7.9	3.4	4.1	2.7	3.4	4.1	2.4	1.0	20.9	39.7		
	75～79歳	100.0 (209)	40.2	31.1	3.8	4.8	6.2	3.3	2.4	5.3	4.3	4.3	1.9	3.8	3.8	1.9	0.5	18.7	41.1		
	80～84歳	100.0 (168)	26.2	17.9	6.5	5.4	3.0	4.2	2.4	3.0	0.6	1.8	3.0	1.2	1.2	0.6	-	25.0	48.8		
	85歳以上	100.0 (177)	13.0	7.9	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	1.1	0.6	0.6	1.1	1.1	1.7	1.1	0.6	22.0	65.0		
全数		100.0 (4,711)	37.8	26.3	5.9	6.3	7.8	4.9	4.7	5.2	3.2	4.2	2.5	3.0	3.2	2.7	0.5	19.5	42.7		
性別	男	100.0 (2,138)	40.9	26.8	7.7	8.4	9.7	6.6	7.2	5.4	3.7	5.5	3.6	3.4	2.6	3.3	0.5	20.7	38.4		
	女	100.0 (2,573)	35.3	25.8	4.5	4.5	6.3	3.5	2.6	5.1	2.8	3.1	1.6	2.8	3.7	2.1	0.5	18.5	46.2		

7 就業・経済

(1) 現在の仕事の有無一性、年齢階級別、全数との比較

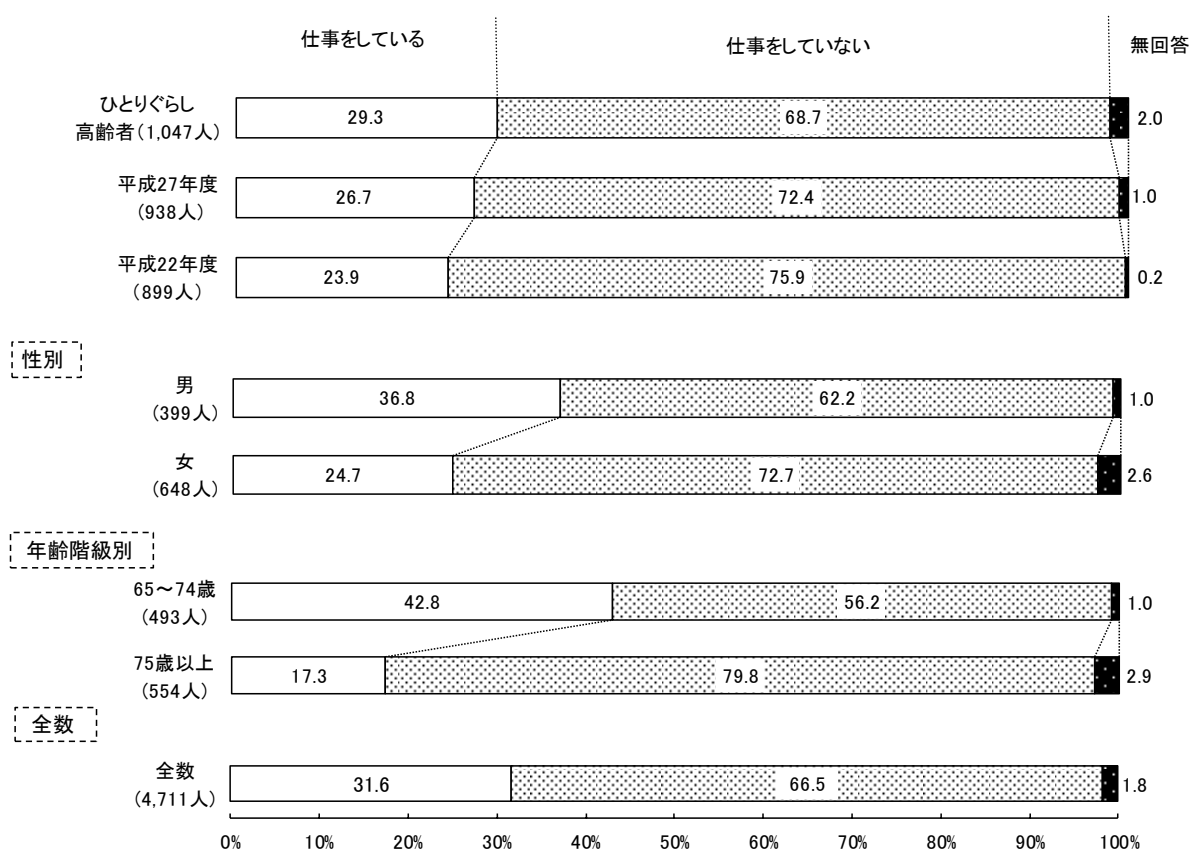
平成 22 年度調査と比べて「仕事をしている」割合が 5.4 ポイント増加

ひとりぐらし高齢者（1,047 人）の現在の仕事の有無をみると、「仕事をしている」割合は 29.3%、「仕事をしていない」割合は 68.7%となっている。平成 22 年度調査（23.9%）と比べると、「仕事をしている」割合は、5.4 ポイント高くなっている。

性別でみると、「仕事をしている」割合は、男性 36.8%、女性 24.7%で、男性の方が 12.1 ポイント高くなっている。

年齢階級でみると、65～74 歳では「仕事をしている」割合は 42.8%となっている。（図 12-11）

図 12-11 現在の仕事の有無一性、年齢階級別、全数との比較



(2) 現在の仕事の就労形態－性・年齢階級別、全数との比較

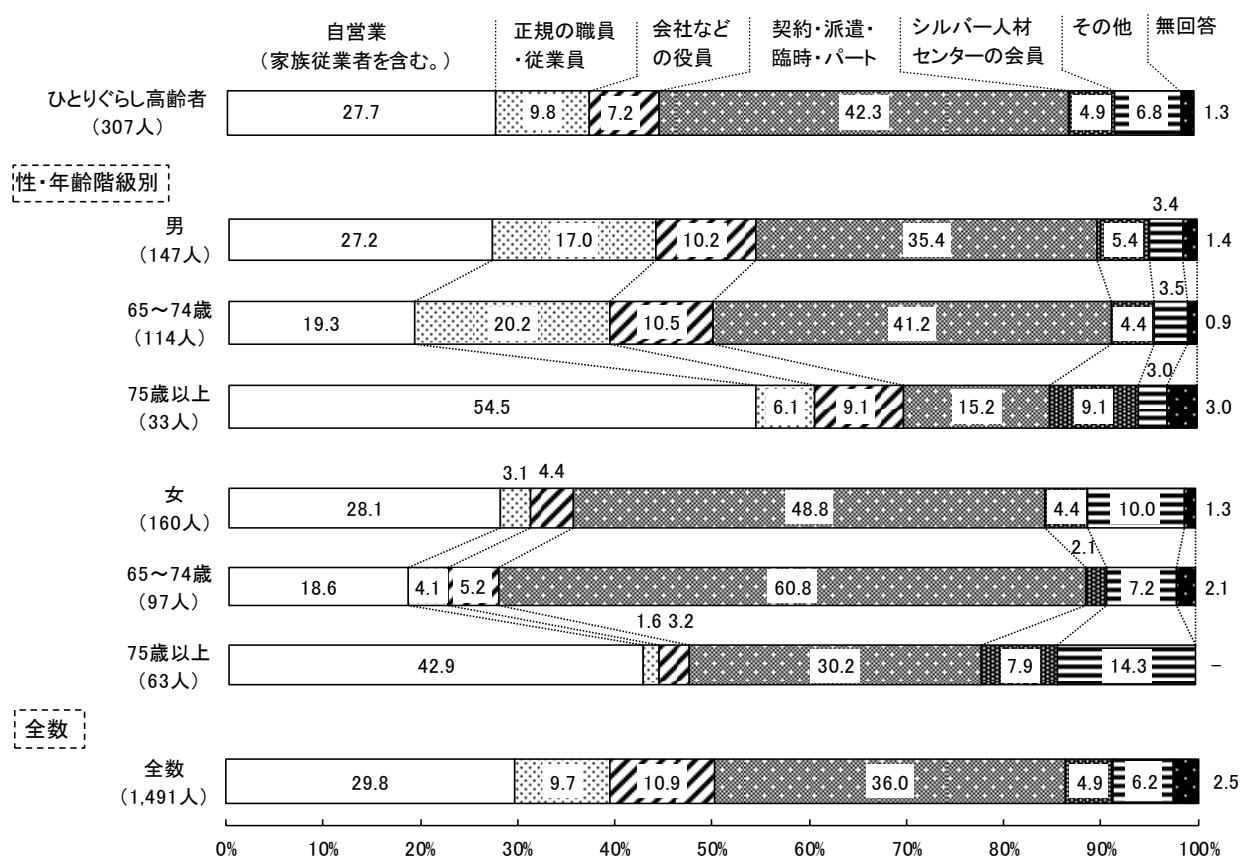
全数と比べて「契約・派遣・臨時・パート」の割合が高い

ひとりぐらし高齢者（1,047人）で収入のある仕事をしている人（307人）の仕事（複数している場合は、収入の最も多いもの）の就労形態をみると、「契約・派遣・臨時・パート」が42.3%で最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む）」が27.7%、「正規の職員・従業員」が9.8%と続いている。

「契約・派遣・臨時・パート」の割合は、全数（36.0%）と比べて、6.3ポイント高くなっている。

性・年齢階級別にみると、「契約・派遣・臨時・パート」の割合は、女性の前期高齢者（65～74歳）が60.8%で最も高くなっている。（図12-12）

図12-12 現在の仕事の就労形態－性・年齢階級別、全数との比較



(3) 収入の種類〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

全数と比べて「生活保護」の割合が高く、9.7%

ひとりぐらし高齢者（1,047人）の2019年中の収入の種類をみると、「公的な年金・恩給」が73.2%で最も高くなっている。

また、「生活保護」の割合は9.7%で、全数（2.7%）と比べると7.0ポイント高くなっている。（表12-16）

表 12-16 収入の種類〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

	総数	公的な年金・恩給	個人的な年金など（企業年金、個人年金など）	仕事による収入	家賃・地代・配当金	仕送り	手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など）	生活保護	その他	収入はない	無回答	
ひとりぐらし高齢者	100.0 (1047)	73.2	22.8	25.4	13.4	1.6	0.6	9.7	0.5	1.7	2.1	
性・年齢階級別	男	100.0 (399)	66.9	25.1	32.1	13.0	0.8	1.3	14.5	0.5	1.5	2.0
	65～69歳	100.0 (119)	55.5	29.4	47.9	10.9	1.7	1.7	16.0	-	1.7	1.7
	70～74歳	100.0 (129)	69.8	24.8	38.0	14.0	0.8	1.6	14.7	0.8	1.6	0.8
	75～79歳	100.0 (71)	70.4	26.8	19.7	8.5	-	-	16.9	-	1.4	2.8
	80～84歳	100.0 (37)	67.6	10.8	16.2	21.6	-	-	13.5	-	2.7	5.4
	85歳以上	100.0 (43)	83.7	23.3	4.7	16.3	-	2.3	7.0	2.3	-	2.3
	女	100.0 (648)	77.0	21.5	21.3	13.6	2.2	0.2	6.8	0.5	1.9	2.2
	65～69歳	100.0 (82)	73.2	28.0	37.8	20.7	2.4	-	2.4	2.4	1.2	-
	70～74歳	100.0 (163)	77.9	27.0	36.8	12.9	1.8	-	8.0	-	-	1.8
	75～79歳	100.0 (138)	79.0	25.4	20.3	12.3	2.9	-	10.1	-	2.2	0.7
	80～84歳	100.0 (131)	71.0	16.0	9.9	9.2	-	0.8	7.6	-	3.1	4.6
85歳以上	100.0 (134)	82.1	11.9	4.5	15.7	3.7	-	3.7	0.7	3.0	3.0	
全数	100.0 (4,711)	77.9	22.6	28.7	14.1	0.7	0.5	2.7	0.5	2.0	2.1	

(4) 本人の年収一性・年齢階級、現在の仕事の有無別、全数との比較

「150万円以上 200万円未満」の割合が最も高く、17.2%

ひとりぐらし高齢者（1,047人）の2019年中の総収入（税込み）をみると、「150万円以上 200万円未満」の割合が17.2%で最も高く、次いで「100万円以上 150万円未満」が16.5%、「200万円以上 250万円未満」が13.8%となっている。

現在の仕事の有無別でみると、仕事をしている人は「300万円以上 500万円未満」の割合が23.5%で最も高く、仕事をしていない人は「150万円以上 200万円未満」の割合が18.4%で最も高くなっている。（表12-17）

表 12-17 本人の年収一性・年齢階級、現在の仕事の有無別、全数との比較

	総数	収入がある	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 150万円未満	150万円以上 200万円未満	200万円以上 250万円未満	250万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上	無回答	収入がない	収入の有無不明		
ひとりぐらし高齢者	100.0 (1,047)	96.4	4.3	11.3	<u>16.5</u>	<u>17.2</u>	<u>13.8</u>	8.9	12.5	5.2	6.8	1.7	1.9		
性・年齢階級別	男		100.0 (399)	97.0	2.5	8.3	15.3	15.3	13.5	10.5	15.5	8.3	7.8	1.5	1.5
		65～69歳	100.0 (119)	96.6	1.7	12.6	11.8	15.1	14.3	8.4	18.5	8.4	5.9	1.7	1.7
		70～74歳	100.0 (129)	98.4	3.1	7.0	19.4	15.5	14.0	12.4	14.7	7.8	4.7	1.6	-
		75～79歳	100.0 (71)	97.2	1.4	4.2	16.9	14.1	18.3	11.3	9.9	4.2	16.9	1.4	1.4
		80～84歳	100.0 (37)	91.9	-	10.8	13.5	13.5	10.8	10.8	10.8	13.5	8.1	2.7	5.4
		85歳以上	100.0 (43)	97.7	7.0	4.7	11.6	18.6	4.7	9.3	23.3	11.6	7.0	-	2.3
	女		100.0 (648)	96.0	5.4	13.1	17.3	18.4	13.9	7.9	10.6	3.2	6.2	1.9	2.2
		65～69歳	100.0 (82)	98.8	3.7	19.5	13.4	25.6	15.9	3.7	13.4	2.4	1.2	1.2	-
		70～74歳	100.0 (163)	98.2	3.7	10.4	19.6	17.2	16.0	8.0	12.3	5.5	5.5	-	1.8
		75～79歳	100.0 (138)	97.1	5.8	11.6	21.7	21.0	12.3	8.0	6.5	4.3	5.8	2.2	0.7
		80～84歳	100.0 (131)	92.4	9.2	14.5	14.5	16.8	9.9	9.2	10.7	0.8	6.9	3.1	4.6
	85歳以上	100.0 (134)	94.0	4.5	12.7	14.9	14.2	15.7	9.0	11.2	2.2	9.7	3.0	3.0	
有仕現在別の	仕事をしている	100.0 (307)	97.7	2.6	6.5	12.4	14.7	12.1	11.7	<u>23.5</u>	12.1	2.3	-	2.3	
	仕事をしていない	100.0 (719)	96.4	5.1	13.5	18.2	<u>18.4</u>	14.6	7.8	8.2	2.4	8.2	2.5	1.1	
全数	100.0 (4,711)	96.2	5.8	17.0	13.2	12.5	12.4	9.2	12.8	9.4	3.8	2.0	1.8		

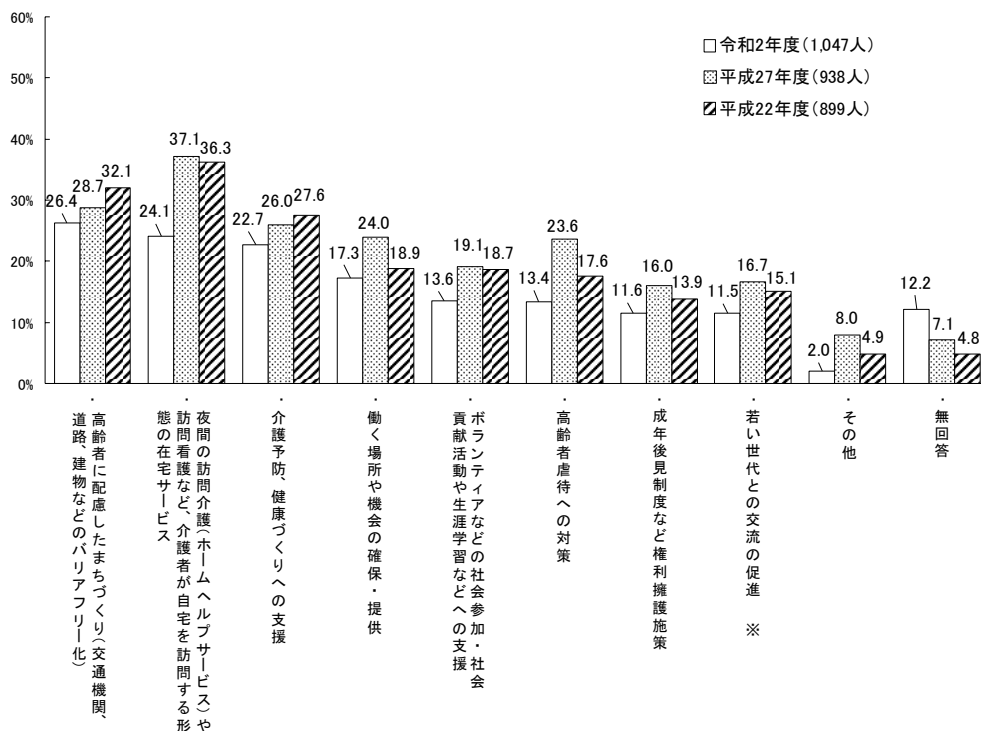
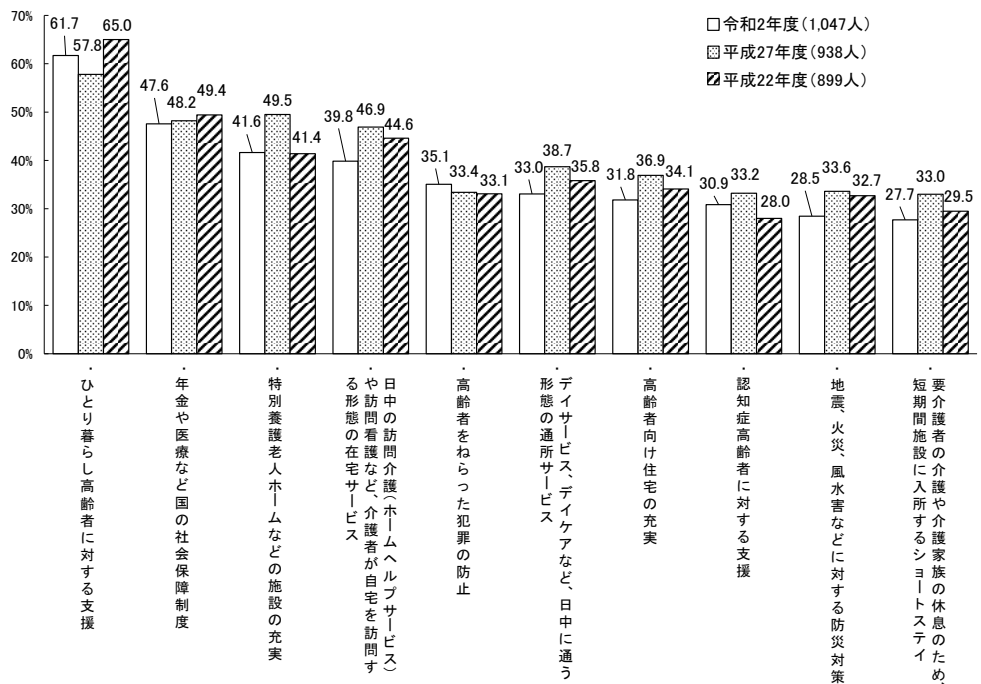
8 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕

「ひとり暮らし高齢者に対する支援」の割合が最も高く、61.7%

ひとり暮らし高齢者(1,047人)が大切だと思う高齢者に対する必要な施策や支援は、「ひとり暮らし高齢者に対する支援」が61.7%で最も高く、次いで「年金や医療など国の社会保障制度」が47.6%、「特別養護老人ホームなどの施設の充実」が41.6%と続いている。

(図 12-13)

図 12-13 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕－過去調査との比較



(注) ※は、平成22年度調査では、「世代間交流の促進」としていた。

第13章 高齢者夫婦のみの世帯の生活実態

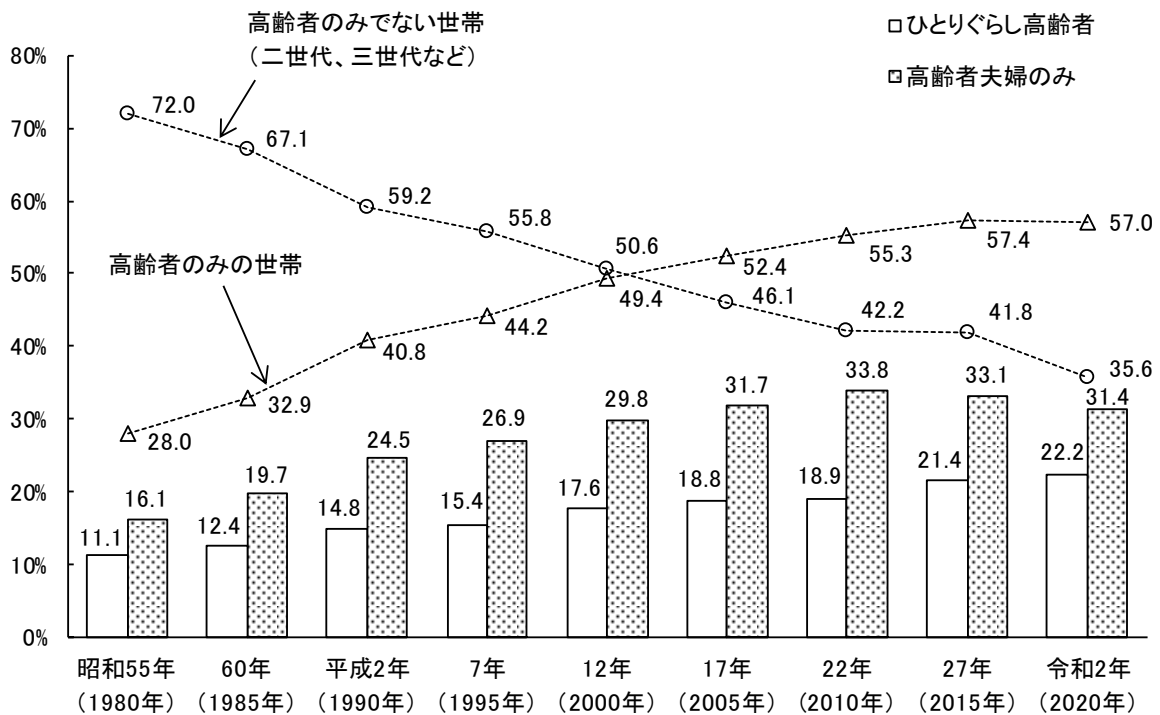
本章では、対象者本人及び配偶者とも、65歳以上の夫婦のみによって構成されている「高齢者夫婦のみの世帯」の人（1,480人）の生活実態を、1世帯の概況、2家族、3健康、4介護保険制度、5住まい、6コミュニケーション、7就業・経済、8高齢者に対する必要な施策や支援の8つの側面から概観する。

1 高齢者夫婦のみの世帯の概況

(1) 高齢者夫婦のみの世帯の推移

「高齢者夫婦のみの世帯」の割合は、調査を開始した昭和55年から一貫して増加し続けていたが、平成27年度調査以降減少している。なお、昭和55年の16.1%と比較すると約2倍に増えている。（図13-1）

図13-1 「高齢者夫婦のみ」及び「ひとりぐらし高齢者」の割合の推移



(2) 年齢階級－性別、全数との比較

75歳以上の割合は、男性 58.6%、女性 43.4%

高齢者夫婦のみの世帯の人(1,480人)の年齢階級は、前期高齢者(65～74歳)が48.7%、後期高齢者(75歳以上)が51.3%となっている。

性別で見ると、後期高齢者の割合は男性58.6%、女性43.4%で、全数(男性47.9%、女性54.5%)と比較すると、男性は10.7ポイント高く、女性は11.1ポイント低くなっている。(表13-1)

表 13-1 年齢階級－性別、全数との比較

	総 数	6 5 5 6 9 歳	7 0 5 7 4 歳	7 5 5 7 9 歳	8 0 5 8 4 歳	8 5 歳 以 上	7 5 (再 掲 以 上)	平 均
高齢者夫婦のみ	100.0 (1,480)	17.3 31.4 48.7		25.9	15.8	9.5	51.3	75.5
男	100.0 (766)	12.0	29.4	26.9	18.5	13.2	58.6	76.7
女	100.0 (714)	23.0	33.6	24.9	12.9	5.6	43.4	74.2
全数	100.0 (4,711)	20.8 27.7 48.5		22.0	15.8	13.7	51.5	75.9
男	100.0 (2,138)	23.0	29.1	21.5	14.4	12.0	47.9	75.2
女	100.0 (2,573)	19.0	26.5	22.4	17.0	15.1	54.5	76.4

(注)全数とは、今回調査における高齢者全体のことをいう(高齢者夫婦のみの世帯も含む。)

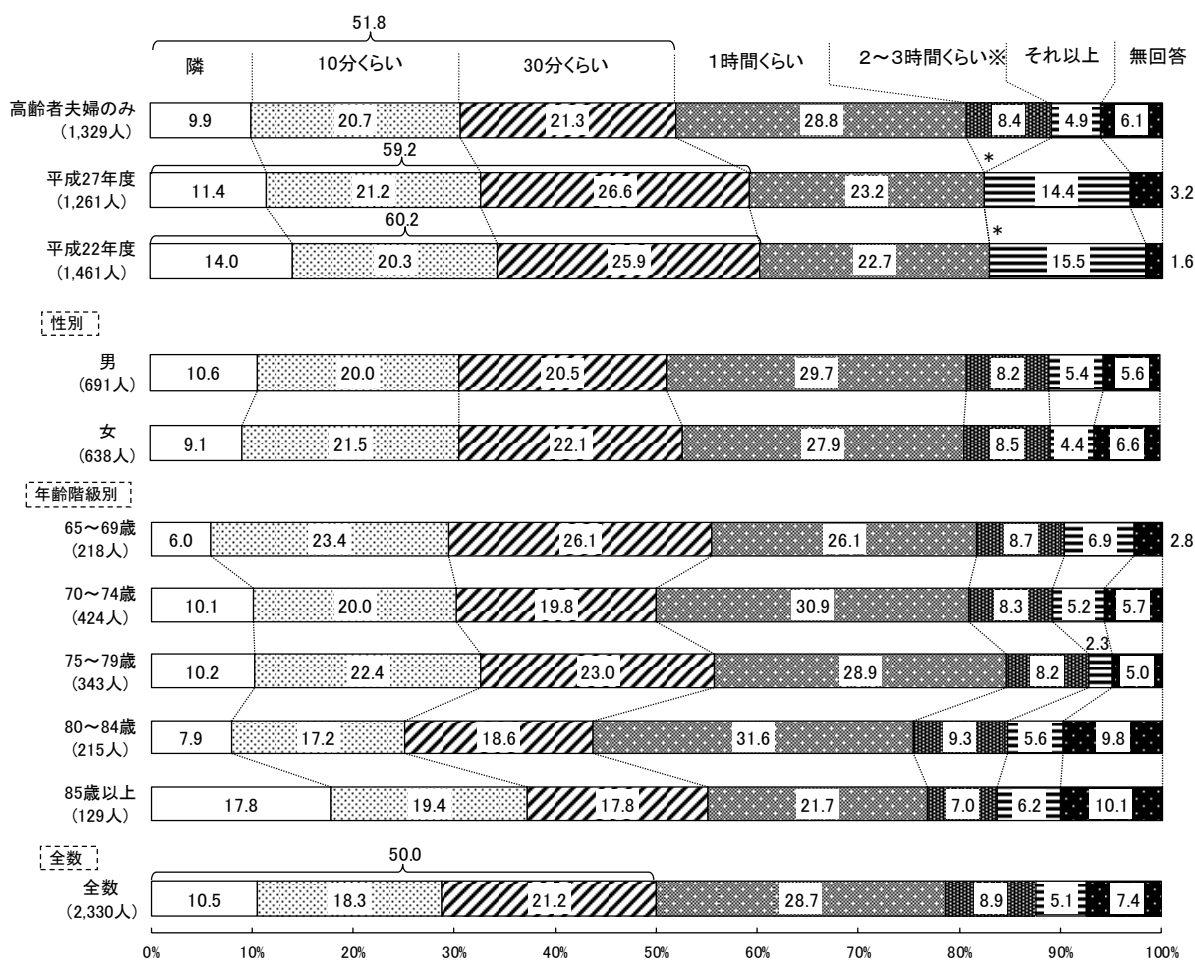
2 家族

(1) 別居している子供との距離－性、年齢階級別

子供との距離が30分くらいまで（「隣」、「10分くらい」、「30分くらい」の合計）の割合は、約5割

子供と別居している高齢者夫婦のみの世帯の人（1,329人）と、一番近くに住んでいる子供との距離をみると、「隣」、「10分くらい」、「30分くらい」を合計した割合は51.8%となっている。（図13-2）

図13-2 別居している子供との距離－性、年齢階級別



(注1) 通常行き来する方法(徒歩、バス、電車など)による時間を聞いた。

(注2) 全数とは、高齢者全体のうち子供と別居している高齢者2,330人。

(注3) *は、平成27年度以前の調査では選択肢を設けておらず、「2～3時間くらい」の回答は「それ以上」の中に含まれる。

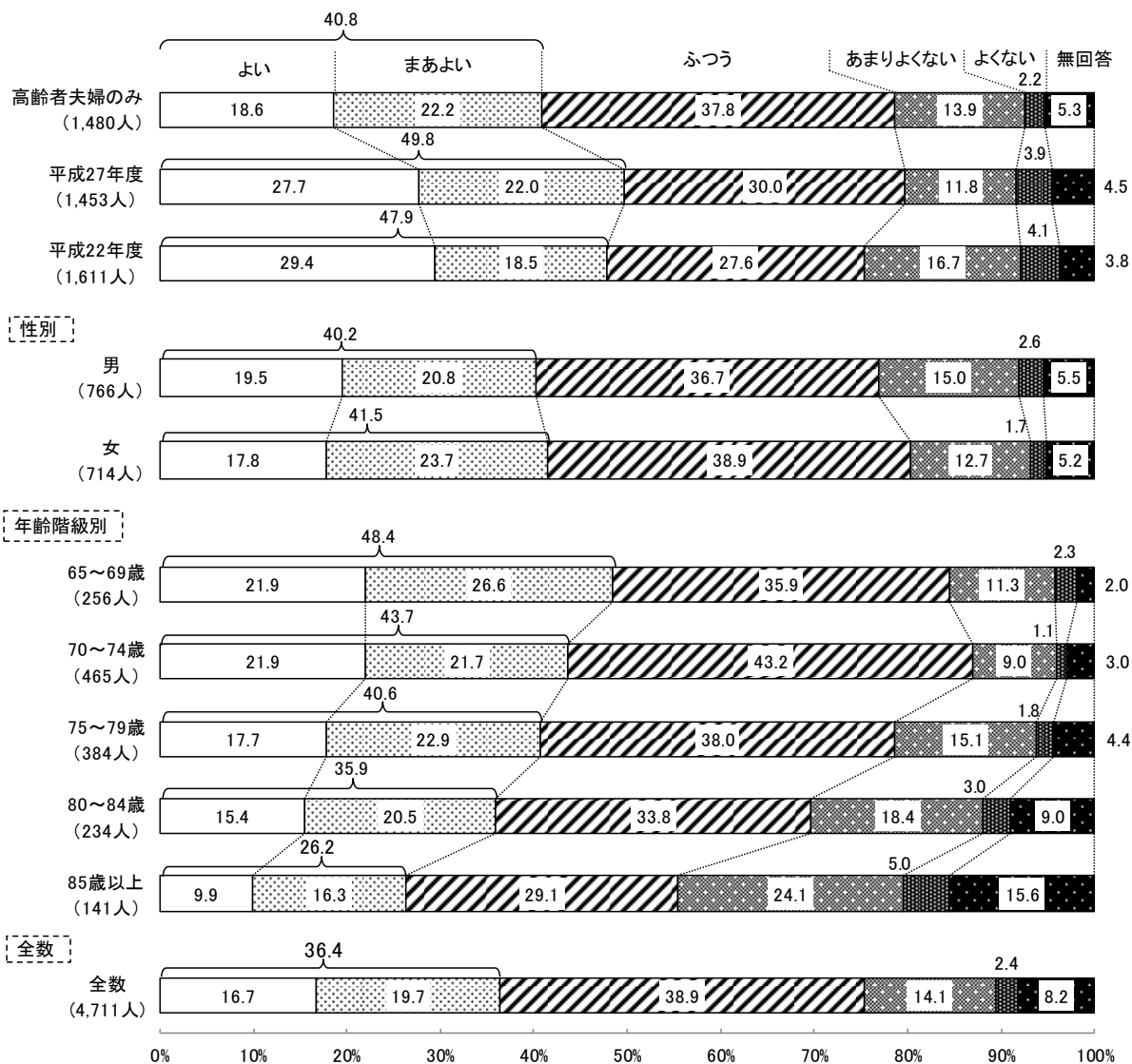
3 健康

(1) 健康状態一性、年齢階級別、全数との比較

健康状態を「よい」と「まあよい」と感じている人の割合は、合わせて約4割

高齢者夫婦のみの世帯の人(1,480人)の健康状態をみると、「ふつう」の割合が37.8%で最も高く、次いで「まあよい」が22.2%となっている。「よい」と「まあよい」を合わせた割合は40.8%となっている。(図13-3)

図13-3 健康状態一性、年齢階級別、全数との比較



4 介護保険制度

(1) 要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無－全数、ひとりぐらし高齢者との比較

「認定を申請していない」の割合は、約 8 割

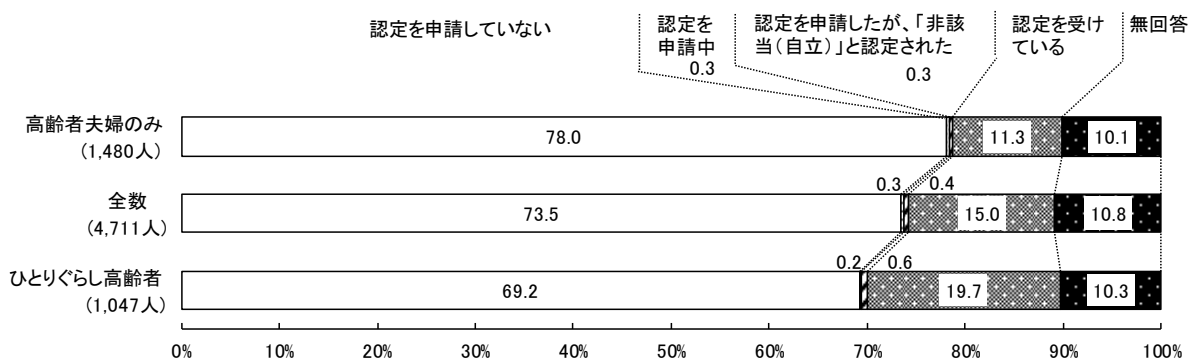
高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）における介護保険制度の要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無をみると、「認定を申請していない」の割合は78.0%、「認定を受けている」割合は11.3%となっている。

「認定を受けている」割合を全数（15.0%）と比較すると、3.7ポイント低くなっている。また、ひとりぐらし高齢者（19.7%）と比較すると、8.4ポイント低くなっている。

（図 13-4）

図 13-4 要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無

－全数、ひとりぐらし高齢者との比較



(2) 要支援・要介護一性、年齢階級、動作能力類型別、全数、ひとりぐらし高齢者との比較

「要支援1」の割合が最も高く、26.3%

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）で、要介護認定（要支援認定を含む。）を受けている人（167人）の要支援・要介護度をみると、「要支援1」の割合が26.3%で最も高く、次いで「要支援2」が22.2%、「要介護2」が16.2%となっている。

性別でみると、男性では「要支援2」の割合が25.5%、女性では「要支援1」の割合が33.3%で最も高くなっている。（表13-2）

表 13-2 要支援・要介護度
一性、年齢階級、動作能力類型別、全数、ひとりぐらし高齢者との比較

		総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	度は支援から要介護
高齢者夫婦のみ		100.0 (167)	26.3	22.2	9.6	16.2	7.2	5.4	6.0	7.2
性別	男	100.0 (98)	21.4	25.5	10.2	19.4	8.2	5.1	5.1	5.1
	女	100.0 (69)	33.3	17.4	8.7	11.6	5.8	5.8	7.2	10.1
年齢階級別	65～74歳	100.0 (21)	28.6	9.5	14.3	9.5	-	9.5	-	28.6
	75歳以上	100.0 (146)	26.0	24.0	8.9	17.1	8.2	4.8	6.8	4.1
動作能力類型別	寝たきりなど的高齢者	100.0 (69)	14.5	10.1	11.6	26.1	14.5	13.0	10.1	-
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (28)	35.7	28.6	17.9	14.3	3.6	-	-	-
	軽い障害のある高齢者	100.0 (29)	37.9	41.4	6.9	3.4	3.4	-	-	6.9
	障害のない高齢者	100.0 (23)	39.1	21.7	4.3	4.3	-	-	-	30.4
全数		100.0 (706)	22.5	18.6	14.2	14.0	8.5	7.9	5.8	8.5
ひとりぐらし高齢者		100.0 (206)	25.2	18.4	16.0	12.6	4.4	7.8	5.8	9.7

(3) 介護の状況（高齢者夫婦のみの世帯の人が介護を受けている状況）

ア 介護をしている人〔複数回答〕－性別、全数との比較

「配偶者」が介護をしている割合が最も高く、74.6%

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）で、要介護認定（要支援認定を含む。）を受けている人（167人）のうち、介護を受けている人（122人）を誰が介護しているかについてみると、「配偶者」の割合が74.6%で最も高く、次いで「子供」が29.5%となっている。

全数と比較すると、「配偶者」の割合は43.8ポイント高く、「子供」の割合は24.7ポイント低くなっている。（表13-3）

表13-3 介護をしている人〔複数回答〕－性別、全数との比較

	総数	親族	1	2	3	4	5	6	親族以外	7	8	9	10
			配偶者	子供	子供の配偶者	孫またはその配偶者	兄弟姉妹	1、5以外の親族		ホームヘルパーなどの介護職員	訪問看護師	近所の人・友人・知人	その他
高齢者夫婦のみ	100.0 (122)	90.2	<u>74.6</u>	<u>29.5</u>	4.1	-	0.8	-	36.1	25.4	16.4	0.8	-
性別	男	100.0 (76)	81.6	23.7	2.6	-	-	-	31.6	18.4	13.2	1.3	-
	女	100.0 (46)	87.0	63.0	39.1	6.5	-	2.2	43.5	37.0	21.7	-	-
全数	100.0 (520)	80.2	<u>30.8</u>	<u>54.2</u>	11.3	4.0	2.9	1.3	43.5	35.4	13.1	1.5	2.1

イ 介護をしている人のうち、最も介護している時間が長い人－性別、全数との比較

最も長い時間、介護をしている人は「配偶者」の割合が高く、60.7%

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）で、要介護認定（要支援認定を含む。）を受けている人（167人）のうち、介護を受けている人（122人）を誰が最も長い時間介護しているかについてみると、「配偶者」の割合が60.7%で最も高く、次いで「子供」が10.7%、「ホームヘルパーなどの介護職員」が9.8%となっている。

全数と比較すると、「配偶者」の割合は36.3ポイント高く、「ホームヘルパーなどの介護職員」の割合は10.6ポイント低くなっている。（表13-4）

表13-4 介護をしている人のうち、最も介護している時間が長い人－性別、全数との比較

	総数	親族	1 配偶者	2 子供	3 子供の配偶者	4 孫またはその配偶者	5 兄弟姉妹	6 1～5以外の親族	親族以外	7 ホームヘルパーなどの介護職員	8 訪問看護師	9 近所の人・友人・知人	10 その他	無回答	
高齢者夫婦のみ	100.0 (122)	72.1	<u>60.7</u>	<u>10.7</u>	0.8	-	-	-	11.5	<u>9.8</u>	1.6	-	-	16.4	
性別	男	100.0 (76)	78.9	69.7	7.9	1.3	-	-	-	10.5	9.2	1.3	-	-	10.5
	女	100.0 (46)	60.9	45.7	15.2	-	-	-	-	13.0	10.9	2.2	-	-	26.1
全数	100.0 (520)	65.4	<u>24.4</u>	33.5	5.2	0.2	1.7	0.4	24.0	<u>20.4</u>	1.9	0.2	1.5	10.6	

5 住まい

(1) 住宅の種類一性、年齢階級、本人の年収別、全数との比較

「持家」の割合は、8割超

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）が住んでいる住宅の種類を大別すると、「持家」が84.5%、「借家・賃貸住宅など」が13.0%となっている。種類別にみると、「持家（一戸建て）」の割合が62.7%で最も高く、次いで「持家（分譲マンションなど）」が21.8%となっている。（表13-5）

表 13-5 住宅の種類一性、年齢階級、本人の年収別、全数との比較

	総数	持家	持家			借家・賃貸住宅など	民間賃貸住宅	都・区・市町村の公営賃貸住宅	都市再生機構・公社などの公的賃貸住宅※	借家（一戸建て）	高齢者向け住宅	その他	無回答
			持家（一戸建て）	持家（分譲マンションなど）									
高齢者夫婦のみ	100.0 (1,480)	84.5	62.7	21.8	13.0	7.2	2.0	2.0	1.0	0.7	0.5	2.0	
平成27年度	100.0 (1,453)	80.3	61.7	18.6	19.1	8.2	6.5	3.1	1.0	0.2	0.3	0.3	
性別	男	100.0 (766)	85.4	62.4	23.0	12.3	6.9	2.3	2.2	0.4	0.4	0.7	1.7
	女	100.0 (714)	83.6	63.0	20.6	13.7	7.6	1.7	1.8	1.7	1.0	0.4	2.2
年齢階級別	65～69歳	100.0 (256)	79.7	51.6	28.1	16.8	14.1	1.2	0.4	1.2	-	1.2	2.3
	70～74歳	100.0 (465)	87.7	64.5	23.2	10.5	6.2	1.5	1.9	0.9	-	0.6	1.1
	75～79歳	100.0 (384)	84.6	64.3	20.3	11.7	5.7	1.3	2.6	1.6	0.5	0.5	3.1
	80～84歳	100.0 (234)	84.2	66.2	17.9	13.7	4.3	3.4	3.8	0.9	1.3	-	2.1
	85歳以上	100.0 (141)	83.0	66.7	16.3	16.3	7.1	5.0	0.7	-	3.5	-	0.7
本人の年収別	収入がある	100.0 (1,437)	85.0	62.9	22.1	12.5	7.0	1.7	2.1	1.0	0.6	0.6	1.9
	50万円未満	100.0 (84)	75.0	58.3	16.7	19.0	7.1	3.6	3.6	1.2	3.6	-	6.0
	50万円以上 100万円未満	100.0 (310)	86.1	65.8	20.3	11.6	5.5	1.3	2.6	1.6	0.6	0.3	1.9
	100万円以上 150万円未満	100.0 (171)	78.9	58.5	20.5	19.9	10.5	4.1	1.8	2.3	1.2	-	1.2
	150万円以上 200万円未満	100.0 (149)	82.6	61.7	20.8	15.4	10.1	2.0	1.3	1.3	0.7	-	2.0
	200万円以上 250万円未満	100.0 (180)	80.0	60.0	20.0	17.8	10.6	2.8	3.9	-	0.6	0.6	1.7
	250万円以上 300万円未満	100.0 (142)	90.1	64.1	26.1	7.7	3.5	1.4	2.1	0.7	-	0.7	1.4
	300万円以上 500万円未満	100.0 (197)	91.9	61.9	29.9	6.1	4.6	-	1.5	-	-	0.5	1.5
	500万円以上 700万円未満	100.0 (88)	88.6	71.6	17.0	8.0	6.8	-	-	1.1	-	1.1	2.3
	700万円以上 1,000万円未満	100.0 (34)	91.2	73.5	17.6	2.9	-	-	-	2.9	-	2.9	2.9
	1,000万円以上	100.0 (47)	93.6	55.3	38.3	-	-	-	-	-	-	4.3	2.1
	収入がない	100.0 (24)	62.5	58.3	4.2	37.5	16.7	16.7	-	-	4.2	-	-
	全数	100.0 (4,711)	78.6	59.2	19.3	17.7	11.4	1.8	1.7	1.2	1.7	1.5	2.2

(注) ※は、平成27年度調査では「都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅」としていた。

(2) 介護が必要になったときの高齢期の住まい

－性、年齢階級、住宅の種類別、全数との比較

「現在の住宅に住み続けたい」の割合は、男女とも4割を超えている

高齢者夫婦のみの世帯の人(1,480人)が介護が必要になったときに住みたい場所についてみると、「現在の住宅に住み続けたい」の割合が46.6%で最も高く、次いで「介護保険で入所できる施設(特別養護老人ホームなど)に入所したい」が20.9%となっている。

性別でみると、「現在の住宅に住み続けたい」の割合は、男性48.6%、女性44.5%となっている。(表13-6)

表13-6 介護が必要になったときの高齢期の住まい

－性、年齢階級、住宅の種類別、全数との比較

		総数	1	2	3	4	5	6	7	無回答
			現在の住宅に住み続けたい	一般の住居や親族の家に移りたい	高齢者向け住宅(有料老人ホームなど)に入居したい	介護保険で入所できる施設(特別養護老人ホームなど)に入所したい	育ったところ(自然環境のよいところ、生まれ育ったところなど)	その他	わからない	
高齢者夫婦のみ		100.0 (1,480)	<u>46.6</u>	1.8	12.4	<u>20.9</u>	1.7	0.4	10.4	5.7
性別	男	100.0 (766)	<u>48.6</u>	1.7	10.8	20.8	2.2	0.4	9.1	6.4
	女	100.0 (714)	<u>44.5</u>	2.0	14.0	21.1	1.1	0.4	11.8	5.0
年齢階級別	65～69歳	100.0 (256)	39.5	1.6	18.4	21.5	3.5	-	14.1	1.6
	70～74歳	100.0 (465)	48.2	1.9	10.5	21.9	2.4	0.6	11.8	2.6
	75～79歳	100.0 (384)	47.9	1.6	12.8	20.8	1.0	0.3	9.6	6.0
	80～84歳	100.0 (234)	50.9	2.6	9.8	20.1	-	-	7.7	9.0
	85歳以上	100.0 (141)	44.0	1.4	10.6	18.4	0.7	1.4	5.7	17.7
住宅の種類別	持家(一戸建て)	100.0 (928)	52.0	0.9	11.9	20.9	0.9	0.3	8.4	4.7
	持家(分譲マンションなど)	100.0 (323)	47.4	2.2	14.9	18.0	1.5	0.3	12.1	3.7
	民間賃貸住宅	100.0 (107)	20.6	5.6	9.3	27.1	9.3	1.9	24.3	1.9
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (30)	26.7	3.3	6.7	40.0	-	-	6.7	16.7
	都市再生機構・住宅供給公社などの公営賃貸住宅	100.0 (30)	26.7	6.7	10.0	36.7	3.3	-	10.0	6.7
	借家(一戸建て)	100.0 (15)	33.3	13.3	20.0	13.3	-	-	20.0	-
全数		100.0 (4,711)	44.5	1.7	11.3	19.1	2.0	0.5	11.9	8.9
性別	男	100.0 (2,138)	46.8	1.4	10.9	19.2	2.8	0.3	11.9	6.7
	女	100.0 (2,573)	42.6	1.9	11.7	19.1	1.3	0.6	11.9	10.8

(注) 住宅の種類別のうち、「高齢者向け住宅」、「その他」については、母集団がそれぞれ10人、8人のため表側から省略した。

6 コミュニケーション

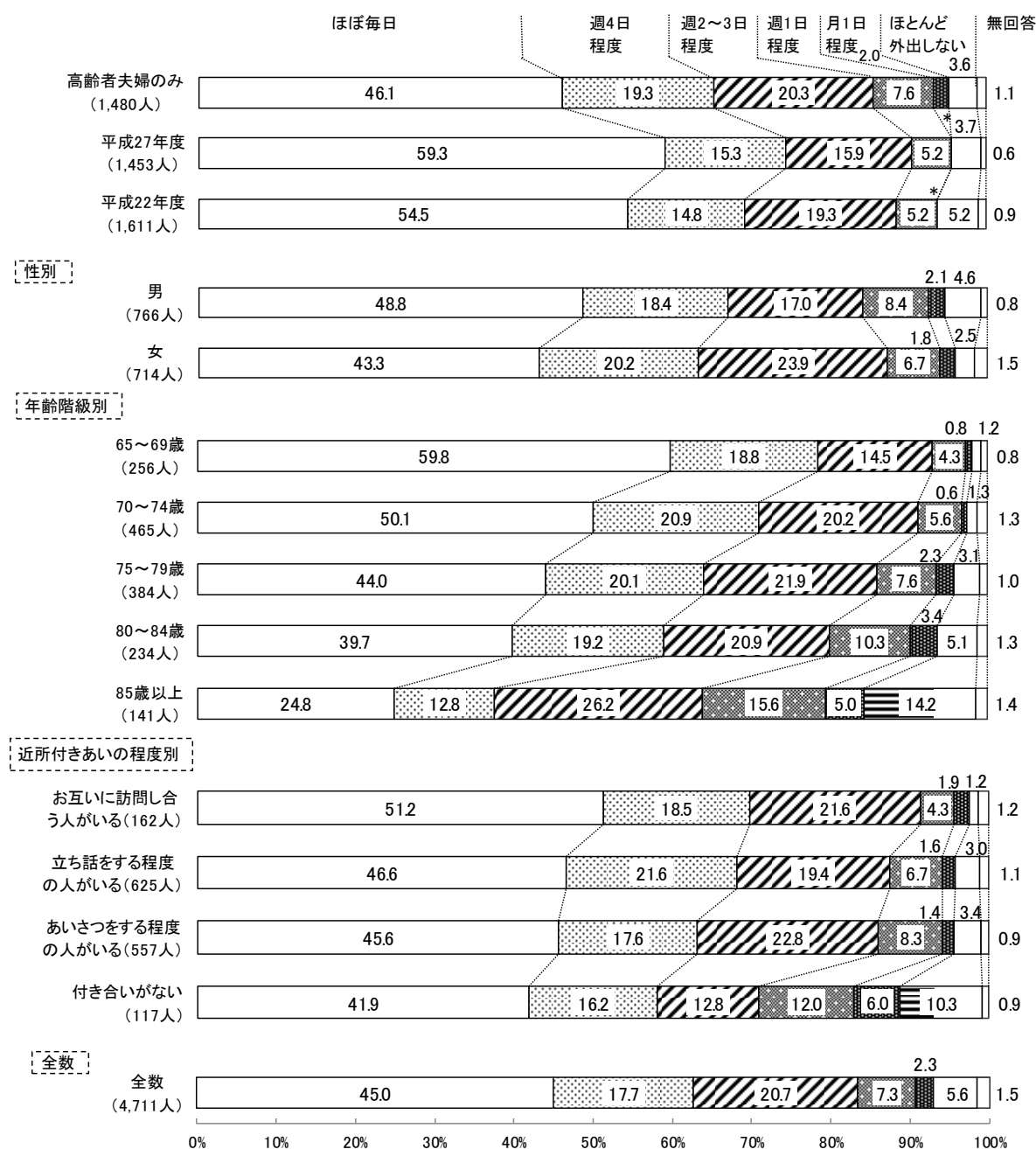
(1) 外出の頻度－性、年齢階級、近所付き合いの程度別、全数との比較

「ほぼ毎日」外出する割合が最も高く、4割超

高齢者夫婦のみの世帯の人(1,480人)の外出頻度をみると、「ほぼ毎日」の割合が46.1%で最も高く、次いで「週2～3日程度」が20.3%、「週4日程度」が19.3%となっている。

近所付き合いの程度別でみると、付き合いがない人は「ほとんど外出しない」割合が10.3%で、近所付き合いがある人と比べて高い割合になっている。(図13-5)

図13-5 外出の頻度－性、年齢階級、近所付き合いの程度別、全数との比較



(注1) 平成27年度以前の「週〇日程度」の選択肢は、いずれも「週〇回程度」と回数表記であり、1日に2回以上外出する場合は、1回と数えた。

(注2) *は、平成27年度以前は選択肢を設けていなかった。

(2) 生きがいを感じているかー性・年齢階級別、全数との比較

高齢者夫婦のみの世帯の人(1,480人)のの生きがい(喜びや楽しみ)を感じているかをみると、「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合は、86.1%となっている。

全数(79.9%)と比較すると、「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合は、6.2ポイント高くなっている。(表13-7)

表 13-7 生きがいを感じているかー性・年齢階級別、全数との比較

		総数	十分感じている	感じている	多少感じている	あまり感じしていない	全く感じしていない	無回答
高齢者夫婦のみ		100.0 (1,480)	23.9	38.7	23.4	7.9	1.2	4.8
			86.1					
性・年齢階級別	男	100.0 (766)	24.0	37.6	24.5	7.0	1.4	5.4
			86.2					
	65～74歳	100.0 (317)	26.5	38.2	26.8	5.7	0.9	1.9
	75～84歳	100.0 (348)	22.7	36.8	25.0	7.5	2.0	6.0
	85歳以上	100.0 (101)	20.8	38.6	15.8	9.9	1.0	13.9
	女	100.0 (714)	23.8	39.9	22.3	8.8	1.0	4.2
			86.0					
	65～74歳	100.0 (404)	24.5	41.3	22.0	9.7	1.2	1.2
75～84歳	100.0 (270)	23.0	41.1	21.1	7.0	0.7	7.0	
85歳以上	100.0 (40)	22.5	17.5	32.5	12.5	-	15.0	
全数		100.0 (4,711)	22.1	34.0	23.9	10.3	2.1	7.7
			79.9					
性別	男	100.0 (2,138)	20.7	34.7	25.5	10.9	2.6	5.6
			80.9					
	女	100.0 (2,573)	23.2	33.4	22.6	9.8	1.7	9.4
			79.1					

(3) 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

「自分の健康・病気」や「配偶者や家族の健康・病気」の割合が高く、それぞれ5割超

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）の心配ごとや悩みごとの内容をみると、「配偶者や家族の健康・病気」の割合が最も高く58.6%、次いで「自分の健康・病気」が54.5%、「将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと」が32.8%となっている。

性別で見ると、「災害（地震・火災・風水害など）にあうこと」の割合は、男性23.5%、女性29.4%で、女性の方が5.9ポイント高く、「自分の死後の配偶者や子供の将来」の割合は、男性25.8%、女性20.9%で、男性の方が、4.9ポイント高くなっている。

全数と比較すると、「配偶者や家族の健康・病気」の割合は17.8ポイント高く、「将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと」の割合は、14.4ポイント高くなっている。（表13-8）

表13-8 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

	総数	自分の健康・病気	配偶者や家族の健康・病気	家族や親族との人間関係	相談したり、頼れる人がいなくて、一人きりであること	地域の人たちとの関係	生活費や経済的なこと	年金・介護・医療など社会保障給付の水準	住宅に関すること	仕事に関すること	財産管理や相続のこと	詐欺などの消費者被害にあうこと	犯罪に巻き込まれること	災害（地震・火災・風水害など）にあうこと	将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと	自分の死後の配偶者や子供の将来	墓の管理	その他	心配ごとや悩みごとはない	無回答	
高齢者夫婦のみ	100.0 (1,480)	<u>54.5</u>	<u>58.6</u>	8.5	0.9	2.0	17.6	22.7	9.7	4.1	8.9	8.9	5.7	26.4	<u>32.8</u>	23.4	11.2	0.7	10.9	5.4	
性・年齢階級別	男	100.0 (766)	55.4	56.3	8.7	1.0	1.8	19.2	23.4	8.1	5.4	10.1	7.6	5.1	<u>23.5</u>	32.8	<u>25.8</u>	13.1	0.3	12.7	5.2
	65～74歳	100.0 (317)	53.6	56.5	6.6	0.9	2.8	24.3	25.9	8.2	9.5	7.9	6.9	4.4	24.9	30.0	23.0	14.8	0.6	14.5	1.3
	75歳以上	100.0 (449)	56.6	56.1	10.2	1.1	1.1	15.6	21.6	8.0	2.4	11.6	8.0	5.6	22.5	34.7	27.8	11.8	-	11.4	8.0
	女	100.0 (714)	53.6	61.1	8.3	0.7	2.2	15.8	22.0	11.5	2.8	7.7	10.4	6.4	<u>29.4</u>	32.8	<u>20.9</u>	9.2	1.1	9.0	5.6
	65～74歳	100.0 (404)	51.0	59.2	7.2	0.5	2.5	17.1	21.0	13.6	4.5	7.9	9.2	5.4	28.2	32.2	22.0	9.4	1.2	11.9	2.7
75歳以上	100.0 (310)	57.1	63.5	9.7	1.0	1.9	14.2	23.2	8.7	0.6	7.4	11.9	7.7	31.0	33.5	19.4	9.0	1.0	5.2	9.4	
全数	100.0 (4,711)	54.3	<u>40.8</u>	9.4	2.7	1.7	20.3	22.1	12.8	5.0	8.7	9.3	5.9	26.4	<u>18.4</u>	20.4	9.8	1.0	10.8	8.4	

(4) 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

「世帯員」の割合が最も高く、73.5%

高齢者夫婦のみの世帯の人(1,480人)の心配ごとや悩みごとの相談相手を見ると、「世帯員」が73.5%で最も高く、次いで「世帯員以外の親族」が34.1%となっている。

全数と比較すると、「世帯員」が18.9ポイント、「世帯員以外の親族」は3.0ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢階級別にみると、「世帯員」は前期高齢者(65～74歳)の男性が79.2%、「友人・知人」は前期高齢者(65～74歳)の女性が51.2%で、それぞれ他の年齢階級と比べて高い割合となっている。(表13-10)

表 13-10 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕－性・年齢階級別、全数との比較

		総数	1 世帯員	2 世帯員以外の親族	3 友人・知人	4 地域包括支援センター	5 地域包括支援センター以外の行政機関の相談窓口	6 民生委員	7 ホームヘルパーなどの介護職員・ケアマネジャー	8 医師、看護師などの医療従事者	9 458以外の専門家(弁護士、税理士、司法書士など)	10 その他	11 相談したりする人はいない	無回答
高齢者夫婦のみ		100.0 (1,480)	<u>73.5</u>	<u>34.1</u>	32.8	5.9	2.0	1.4	4.5	9.6	4.2	0.5	4.3	5.7
性・年齢階級別	男	100.0 (766)	75.1	27.0	22.6	5.7	2.5	1.6	5.4	12.7	5.5	0.5	6.0	6.1
	65～74歳	100.0 (317)	<u>79.2</u>	27.4	30.6	3.2	2.2	0.9	2.8	11.4	5.0	1.3	6.9	1.9
	75歳以上	100.0 (449)	72.2	26.7	16.9	7.6	2.7	2.0	7.1	13.6	5.8	-	5.3	9.1
	女	100.0 (714)	71.8	41.7	43.7	6.2	1.5	1.3	3.5	6.3	2.8	0.6	2.5	5.3
	65～74歳	100.0 (404)	74.5	43.6	<u>51.2</u>	3.2	1.2	0.2	1.2	4.0	2.5	0.7	3.2	2.2
	75歳以上	100.0 (310)	68.4	39.4	33.9	10.0	1.9	2.6	6.5	9.4	3.2	0.3	1.6	9.4
全数		100.0 (4,711)	<u>54.6</u>	<u>31.1</u>	31.9	4.1	1.8	1.6	3.7	9.1	3.5	0.6	7.3	10.6

7 就業・経済

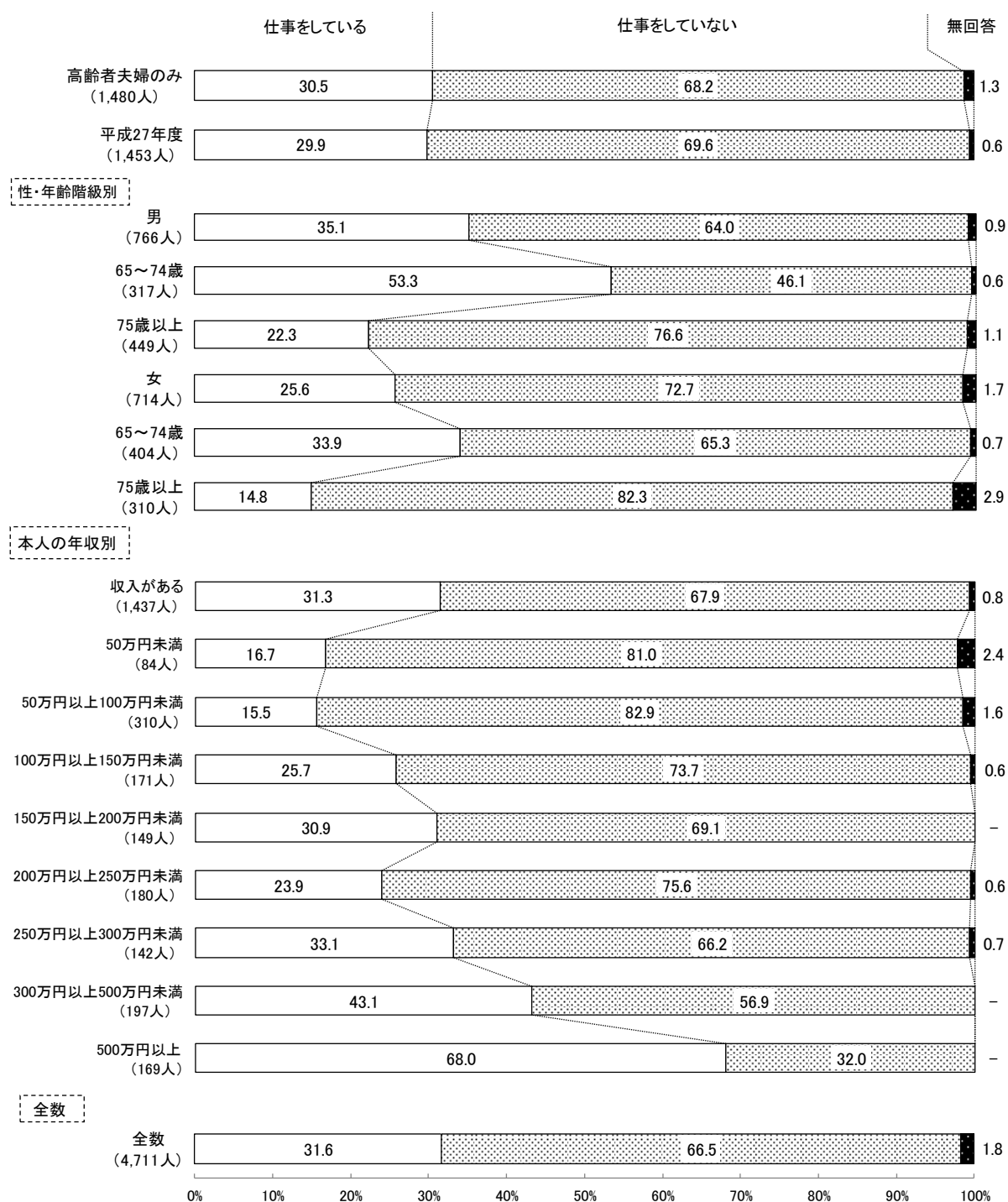
(1) 現在の仕事の有無一性・年齢階級、本人の年収別、全数との比較

「仕事をしている」割合は、男性の65～74歳が最も高く、53.3%

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）の現在の仕事の有無をみると、「仕事をしている」割合は30.5%、「仕事をしていない」割合は68.2%となっている。

性・年齢階級別にみると、「仕事をしている」割合は、男性の前期高齢者（65～74歳）が最も高く、53.3%となっている。（図13-6）

図13-6 現在の仕事の有無一性・年齢階級、本人の年収別、全数との比較

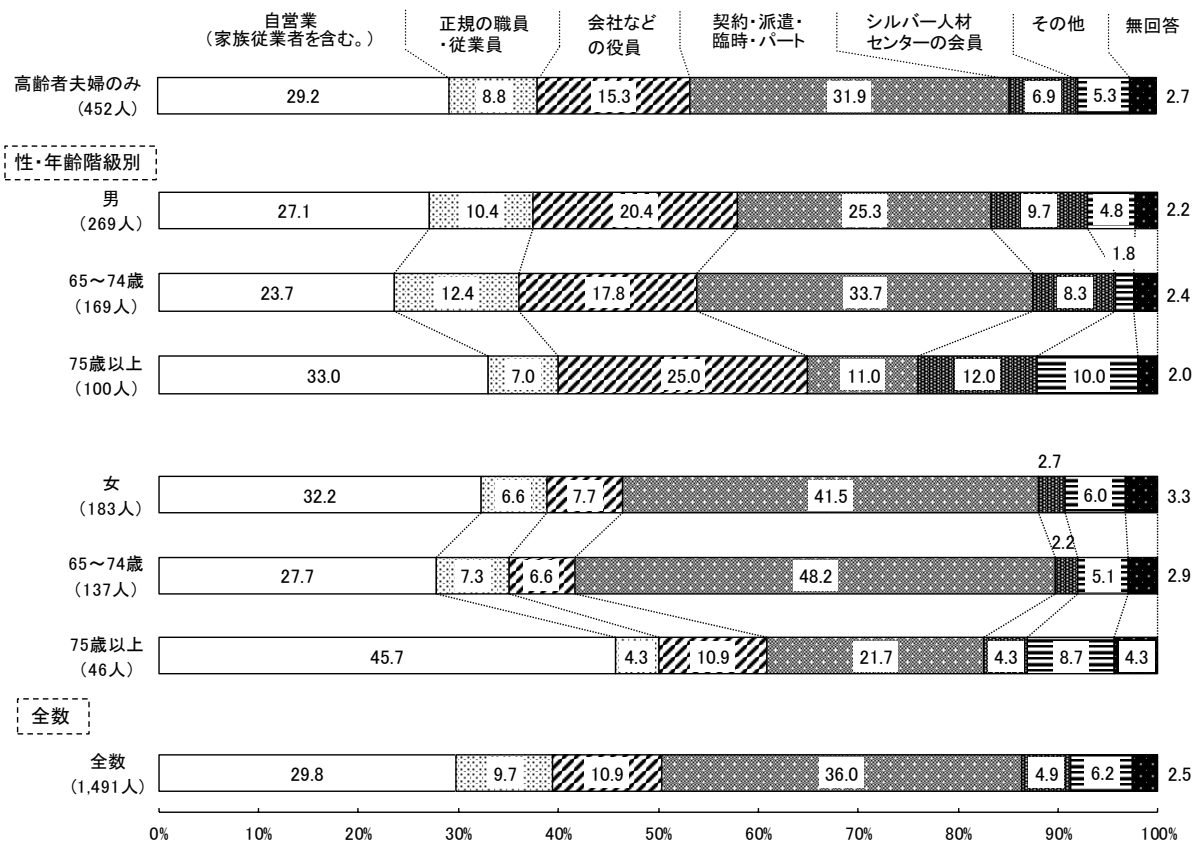


(2) 現在の仕事の就労形態－全数との比較

高齢者夫婦のみの世帯の人(1,480人)で、現在、仕事をしている人(452人)の仕事(複数している場合は、収入の最も多いもの)の就労形態をみると、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が31.9%で最も高く、次いで「自営業(家族従業者を含む)」が29.2%、「会社などの役員」が15.3%となっている。

全数(36.0%)と比較すると、「契約・派遣・臨時・パート」の割合は、4.1ポイント低くなっている。(図13-7)

図13-7 現在の仕事の就労形態－全数との比較



(注) 全数とは、高齢者全体のうち、収入のある仕事をしている1,491人。

(3) 本人の年収一性・年齢階級、現在の仕事の有無別、全数との比較

男性は「300万円以上 500万円未満」、女性は「50万円以上 100万円未満」の割合が最も高い

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）の2019年中の総年収（税込み）を性別で見ると、男性では「300万円以上 500万円未満」の割合が21.1%で最も高く、次いで「500万以上」が19.5%、「200万円以上 250万円未満」が18.7%となっている。一方、女性は「50万円以上 100万円未満」の割合が37.8%で最も高く、次いで「100万円以上 150万円未満」が16.9%、「50万円未満」が10.6%となっている。

男性は年収200万円以上が73.0%、一方、女性は年収200万円未満が75.4%で、それぞれ7割超となっている。（表13-11）

表 13-11 本人の年収一性・年齢階級、現在の仕事の有無別、全数との比較

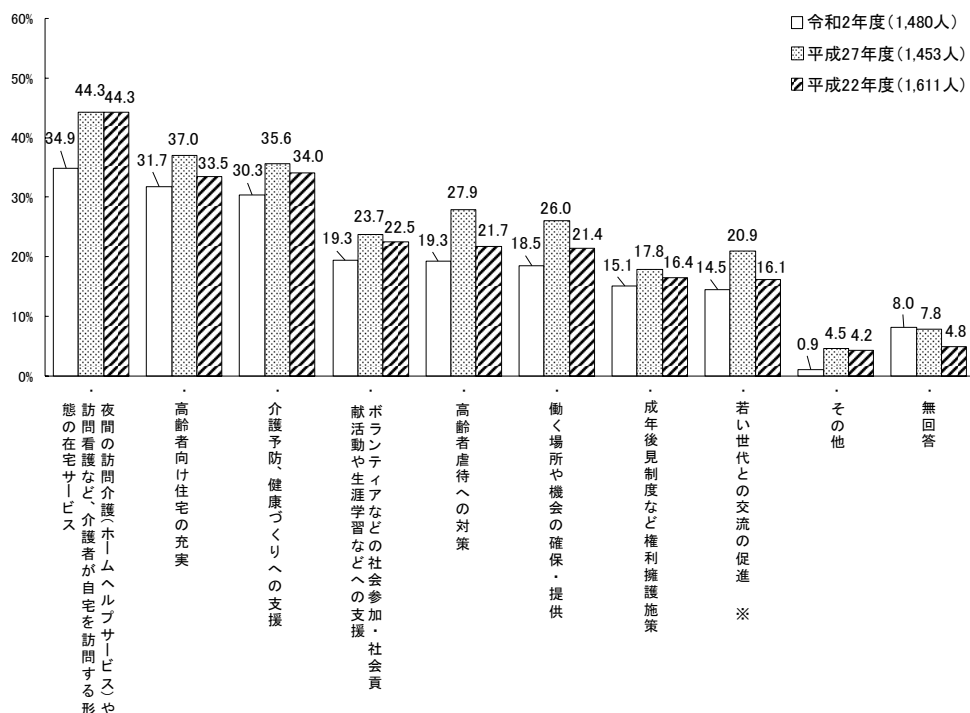
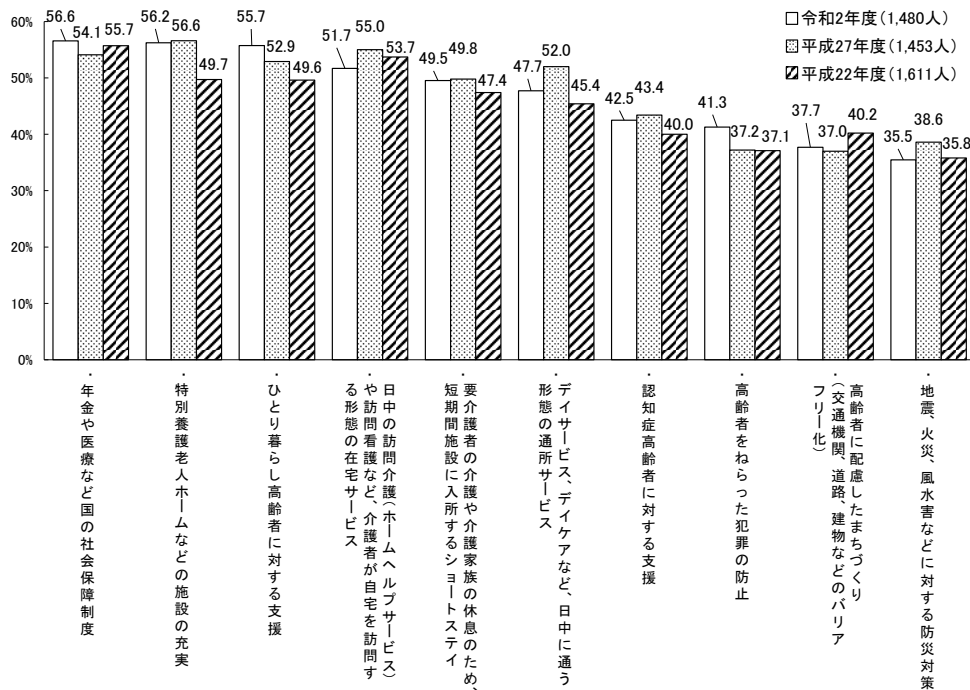
	総数	収入がある	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 150万円未満	150万円以上 200万円未満	200万円以上 250万円未満	250万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上	無回答	収入がない	収入の有無不明		
高齢者夫婦のみ	100.0 (1,480)	97.1	5.7	20.9	11.6	10.1	12.2	9.6	13.3	11.4	2.4	1.6	1.3		
性・年齢階級別	男	100.0 (766)	97.8	1.0	5.2	6.5	10.2	18.7	13.7	21.1	19.5	1.8	1.2	1.0	
		65～69歳	100.0 (92)	97.8	-	-	5.4	8.7	16.3	7.6	27.2	30.4	2.2	1.1	1.1
		70～74歳	100.0 (225)	99.1	0.4	3.1	7.1	11.6	18.7	15.1	19.6	21.8	1.8	0.4	0.4
		75～79歳	100.0 (206)	97.1	1.0	6.3	4.9	11.7	22.3	12.6	18.4	18.4	1.5	1.5	1.5
		80～84歳	100.0 (142)	98.6	1.4	6.3	9.2	10.6	19.7	12.0	19.7	16.9	2.8	0.7	0.7
		85歳以上	100.0 (101)	95.0	3.0	10.9	5.9	5.0	11.9	20.8	26.7	9.9	1.0	3.0	2.0
	女	100.0 (714)	96.4	10.6	37.8	16.9	9.9	5.2	5.2	4.9	2.8	2.9	2.1	1.5	
		65～69歳	100.0 (164)	98.8	6.7	40.2	13.4	9.1	6.1	5.5	10.4	5.5	1.8	1.2	-
		70～74歳	100.0 (240)	97.1	10.0	40.0	17.5	10.0	5.4	5.0	3.3	2.5	3.3	1.7	1.3
		75～79歳	100.0 (178)	93.3	11.8	39.9	17.4	9.6	4.5	3.9	1.7	1.7	2.8	3.9	2.8
		80～84歳	100.0 (92)	96.7	19.6	30.4	15.2	10.9	4.3	7.6	3.3	2.2	3.3	2.2	1.1
		85歳以上	100.0 (40)	95.0	5.0	22.5	30.0	12.5	5.0	5.0	10.0	-	5.0	-	5.0
現在の仕事の有無別	仕事をしている	100.0 (452)	99.6	3.1	10.6	9.7	10.2	9.5	10.4	18.8	25.4	1.8	-	0.4	
	仕事をしていない	100.0 (1,009)	96.7	6.7	25.5	12.5	10.2	13.5	9.3	11.1	5.4	2.6	2.4	0.9	
全数	100.0 (4,711)	96.2	5.8	17.0	13.2	12.5	12.4	9.2	12.8	9.4	3.8	2.0	1.8		

8 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕

「年金や医療など国の社会保障制度」の割合が最も高く、56.6%

高齢者夫婦のみの世帯の人（1,480人）が大切だと思う高齢者に対する必要な施策や支援は、「年金や医療など国の社会保障制度」の割合が56.6%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設の充実」が56.2%、「ひとり暮らし高齢者に対する支援」が55.7%となっている。（図13-8）

図13-8 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕—全数との比較



（注）※は、平成22年度調査では、「世代間交流の促進」としていた。